

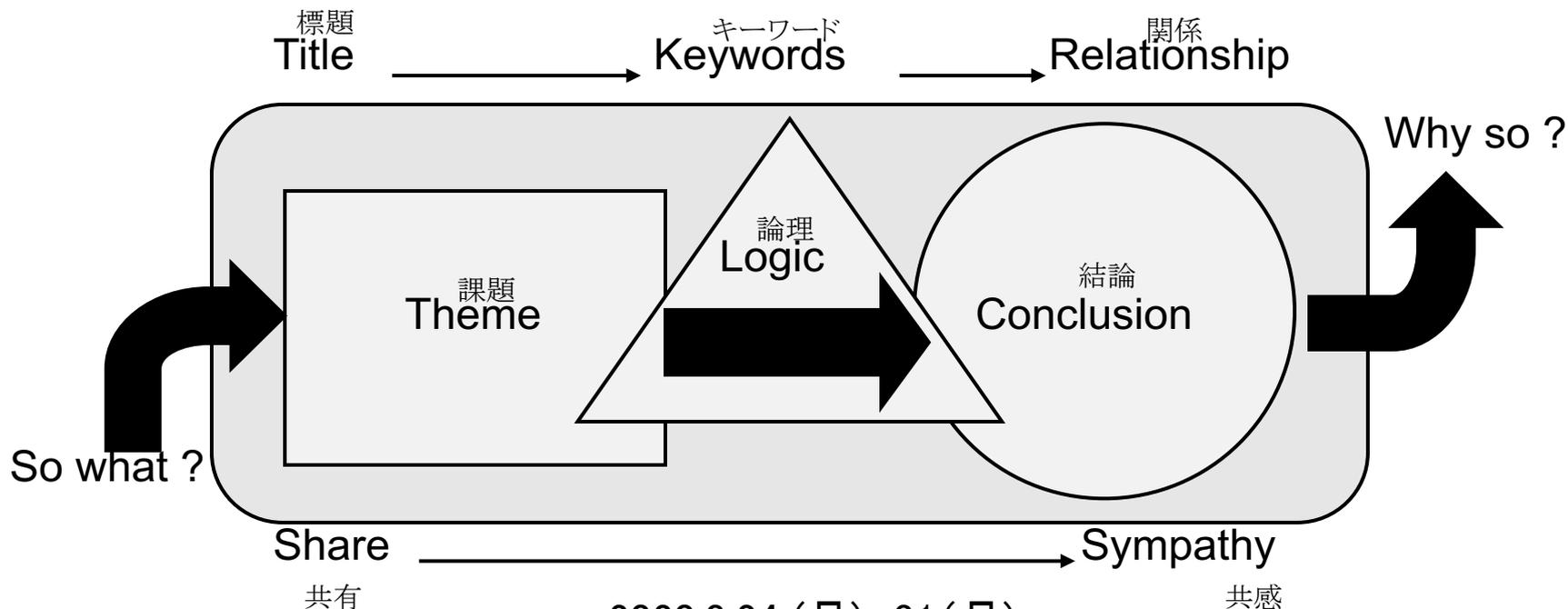
# 「図解によるロジカルシンキング研修」

図解技法による論理構築術で、説得型コミュニケーションから  
納得型シェアリングを進めよう

2020

2021

## 「床屋さんイノベーション」特別講義



2020.8.24 (月)、31 (月)

メディアオフィス アトリエ・マ・ヌー舎 主宰  
東北工業大学 玉川大学 兼任講師

力丸萌樹  
Moeki Rikimaru

Vol.1

# 研修プログラム

2020/8/24

16:00-17:30 <b>1.講義</b> (論理思考と図解の技術)
17:30-18:30 <b>2.図解プラクティス</b> I、II、III
18:30-19:00 <b>3.講義まとめ、次回までの課題発表</b> アンケート

※時間はプログラムの目安です。  
受講者の進捗などによりずれたり前後させることもありますので、ご了解ください。

※ロジカルシンキング(論理思考術)としての図解思考術への理解を深め、特に思考訓練としての図解技術について、その考え方、描法を学びます

※テーマに沿って論理図解を試行(プラクティス)します

※1日目の講義内容を敷衍し、振り返ります。次週までの課題と、アンケートを提出していただきます

2020/8/31

16:00-17:00 <b>4.グループ発表・批評</b> (テーブルプレゼンテーションI)
17:00-18:00 <b>5.講義</b> (図解TIPS)
18:00-19:00 <b>6.質疑応答、講義まとめ</b> アンケート

※前週の課題をもとにグループでプレゼンテーションし、批評、評価し合います

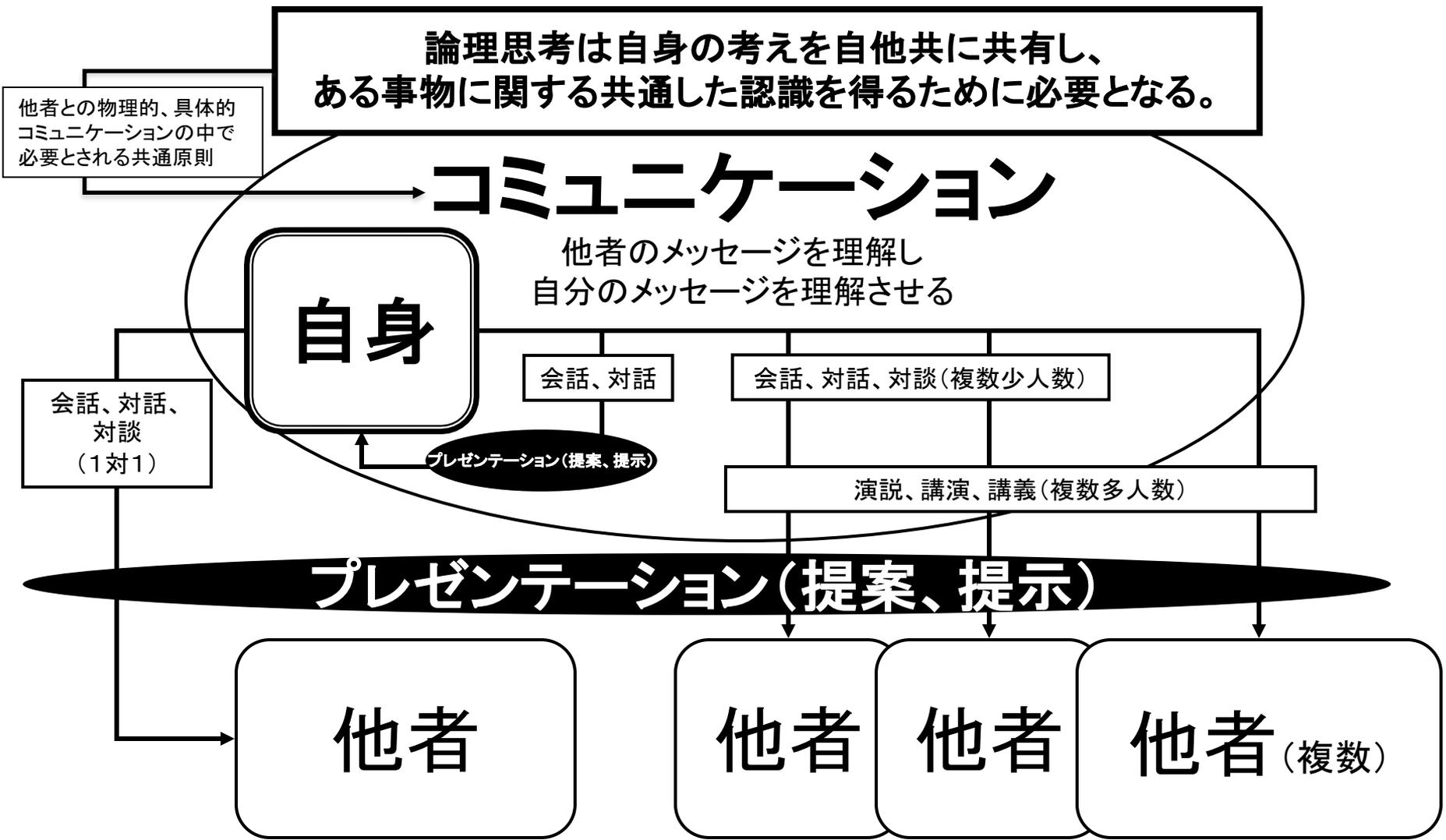
※描図のためのキーワードのまとめ方やことばのつながりかた、思考手順を具体的に学びます。

※講義内での疑問点、描図上の質問など、自由質問タイムです。前週同様、講義のまとめとアンケートも提出していただきます

**EXTRA**  
**図解添削**

※図解添削はオンラインにて相互評価ともども実施予定です

# ● 論理思考の目指すところ



# ■社会(企業、組織)に必要とされる「コミュカ」①

## 「社会人基礎力」とは

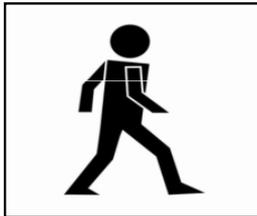


- 平成18年2月、経済産業省では産学の有識者による委員会(座長:諏訪康雄法政大学大学院教授)にて「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」を下記3つの能力(12の能力要素)から成る「社会人基礎力」として定義づけ。

### <3つの能力 / 12の能力要素>

#### 前に踏み出す力 (アクション)

～一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力～



##### 主体性

物事に進んで取り組む力

##### 働きかけ力

他人に働きかけ巻き込む力

##### 実行力

目的を設定し確実に行動する力

#### 考え抜く力 (シンキング)

～疑問を持ち、考え抜く力～



##### 課題発見力

現状を分析し目的や課題を明らかにする力

##### 計画力

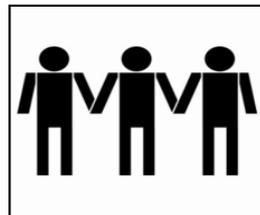
課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力

##### 創造力

新しい価値を生み出す力

#### チームで働く力 (チームワーク)

～多様な人々とともに、目標に向けて協力する力～



##### 発信力

自分の意見をわかりやすく伝える力

##### 傾聴力

相手の意見を丁寧に聴く力

##### 柔軟性

意見の違いや立場の違いを理解する力

##### 状況把握力

自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力

##### 規律性

社会のルールや人との約束を守る力

##### ストレスコントロール力

ストレスの発生源に対応する力

# ■社会（企業、組織）に必要とされる「コミュカ」②

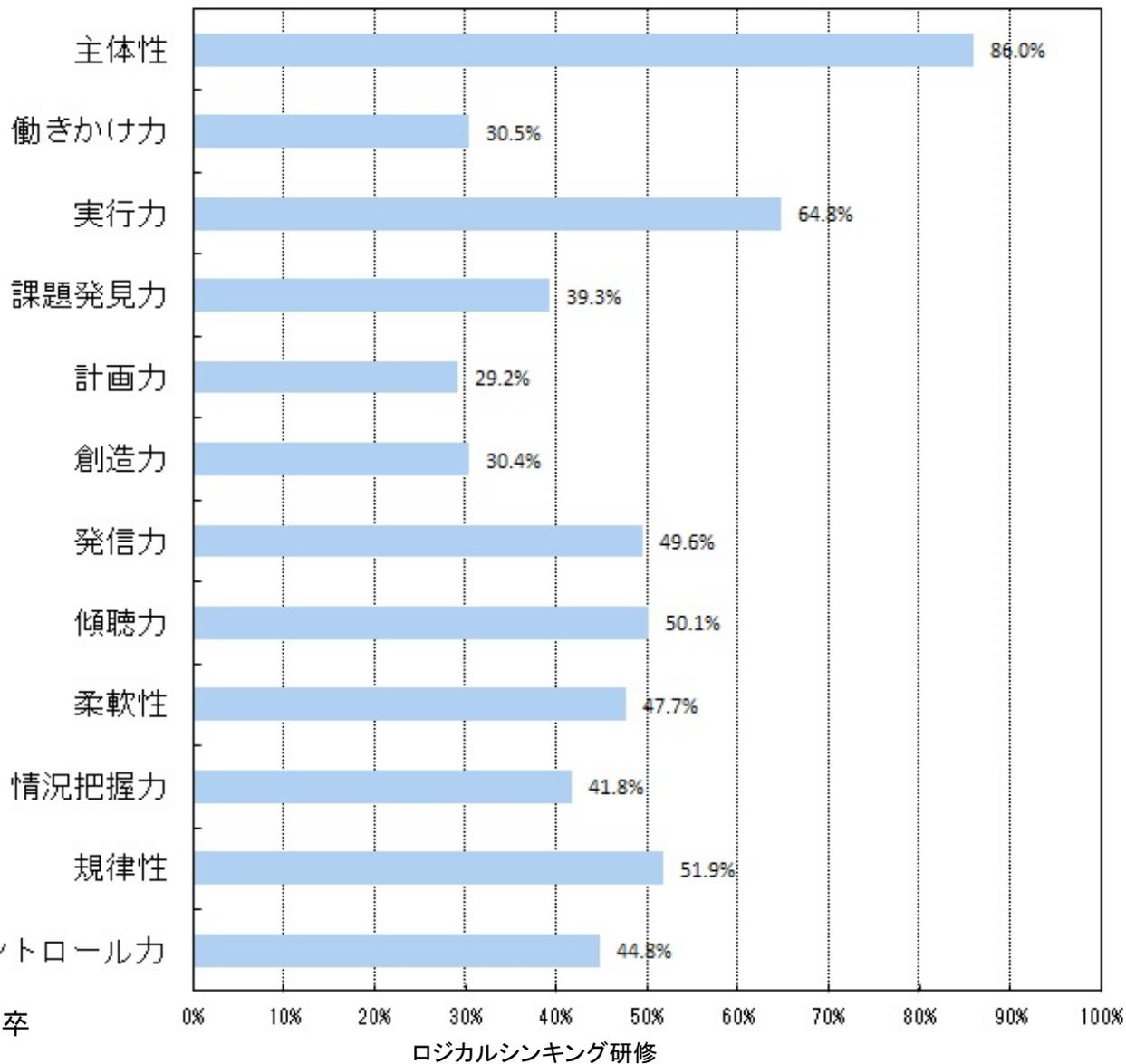
## 「人生100年時代の社会人基礎力」の見直しのイメージ

「新・社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、目的、学び、組合せのバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。



# ■社会(企業、組織)に必要とされる「コミュカ」③

12の要素「選考時に重視する力」



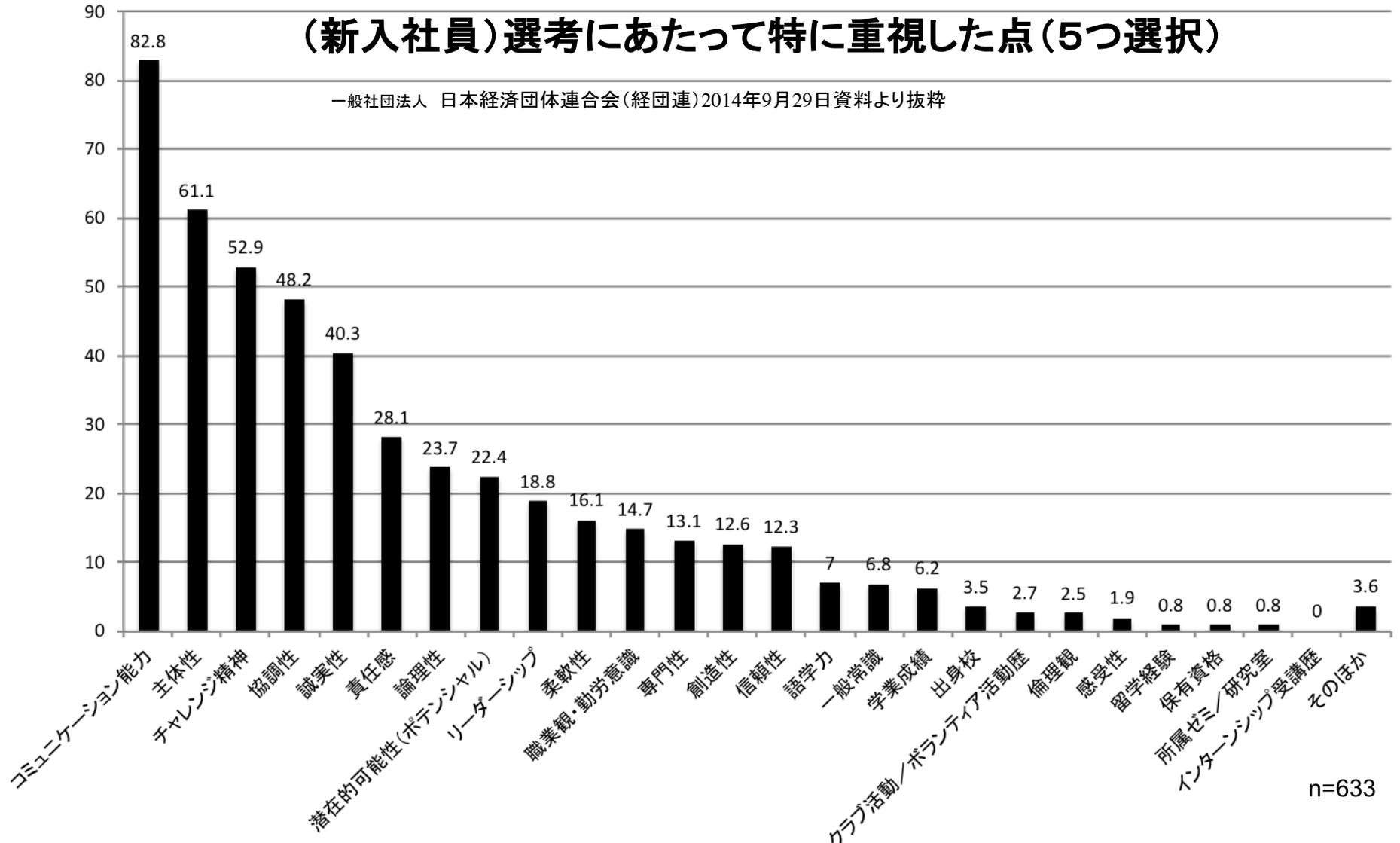
「選考時に重視する力」:  
2018年卒マイナビ企業新卒  
採用予定調査より

# ■社会(企業、組織)に必要とされる「コミュカ」④

## ●新卒採用(2014年4月入社対象)に関するアンケート調査結果

### (新入社員)選考にあたって特に重視した点(5つ選択)

一般社団法人 日本経済団体連合会(経団連)2014年9月29日資料より抜粋



n=633

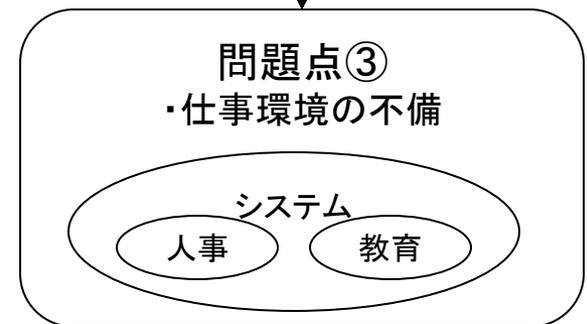
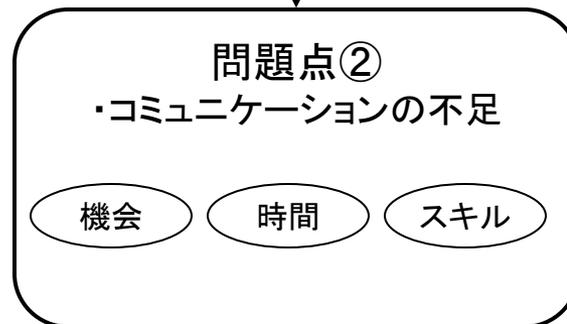
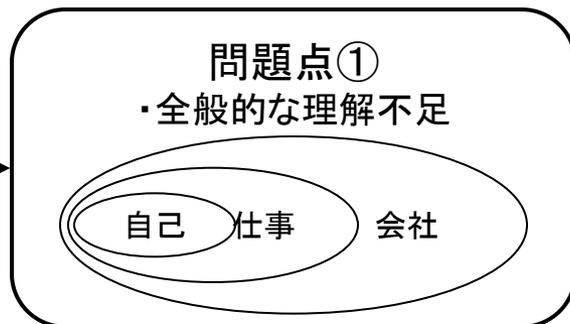
# ■仕事がうまくいかない若年者たち

●職業生活において困っていること(正社員、複数回答)

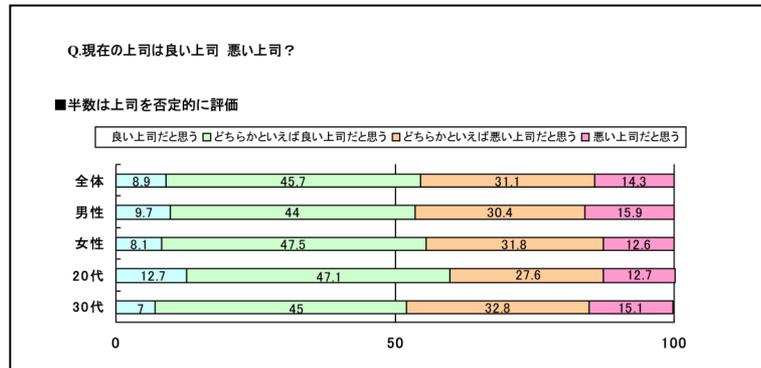
	項目	割合
①	自分の能力・適正にあった仕事が見つからない	27.2
②	困っていることは特になし	25.5
③	自分が今後どんな仕事をしていけばよいか相談出来る機会が不十分である	23.2
④	社内における教育訓練(研修)機会が不十分である	19.8
⑤	社外における教育訓練(研修)を受講したいが、勤務時間面で問題がある	18.2
⑥	社外における教育訓練(研修)を受講したいが、費用がかかりすぎる	17.5
⑦	自分の希望が配置・昇進に反映されない	11.2
⑧	転職したいが、希望する転職先が見つからない	11.1
⑨	社外における教育訓練(研修)機会が不十分である	6.2
⑩	その他	3.4
⑪	無回答	2.3

自分次第で  
解決出来る  
問題点

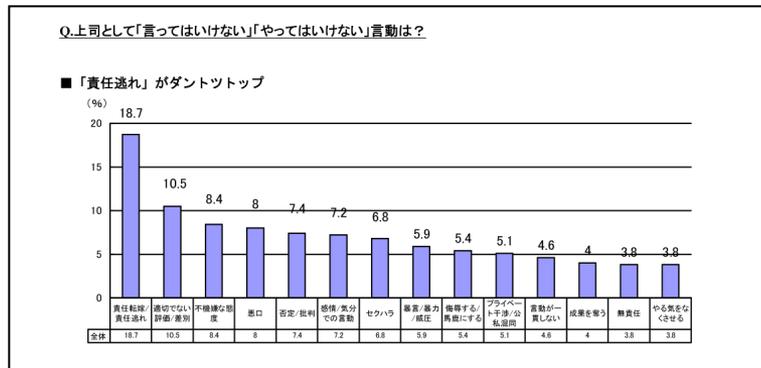
※厚生労働省委託／(株)UFJ総合研究所「若年者のキャリア支援に関する実態調査」(2003年)



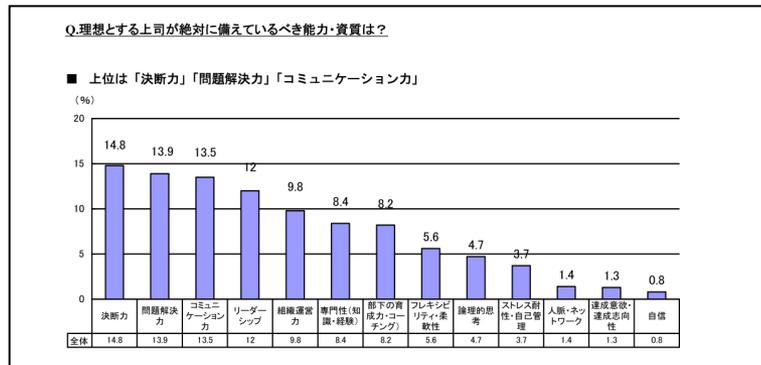
# ■上司に求められる能力と資質



現在の上司に対して過半数が「良い上司」「どちらかといえ  
ば良い上司」と肯定的な評価であったものの、  
残る45.4%は否定的な評価という結果になりました。



「上司として“やってはいけない”“言ってはいけない”言動」についての質問では、「責任逃れ」が約20%と最も多い回答となりました。

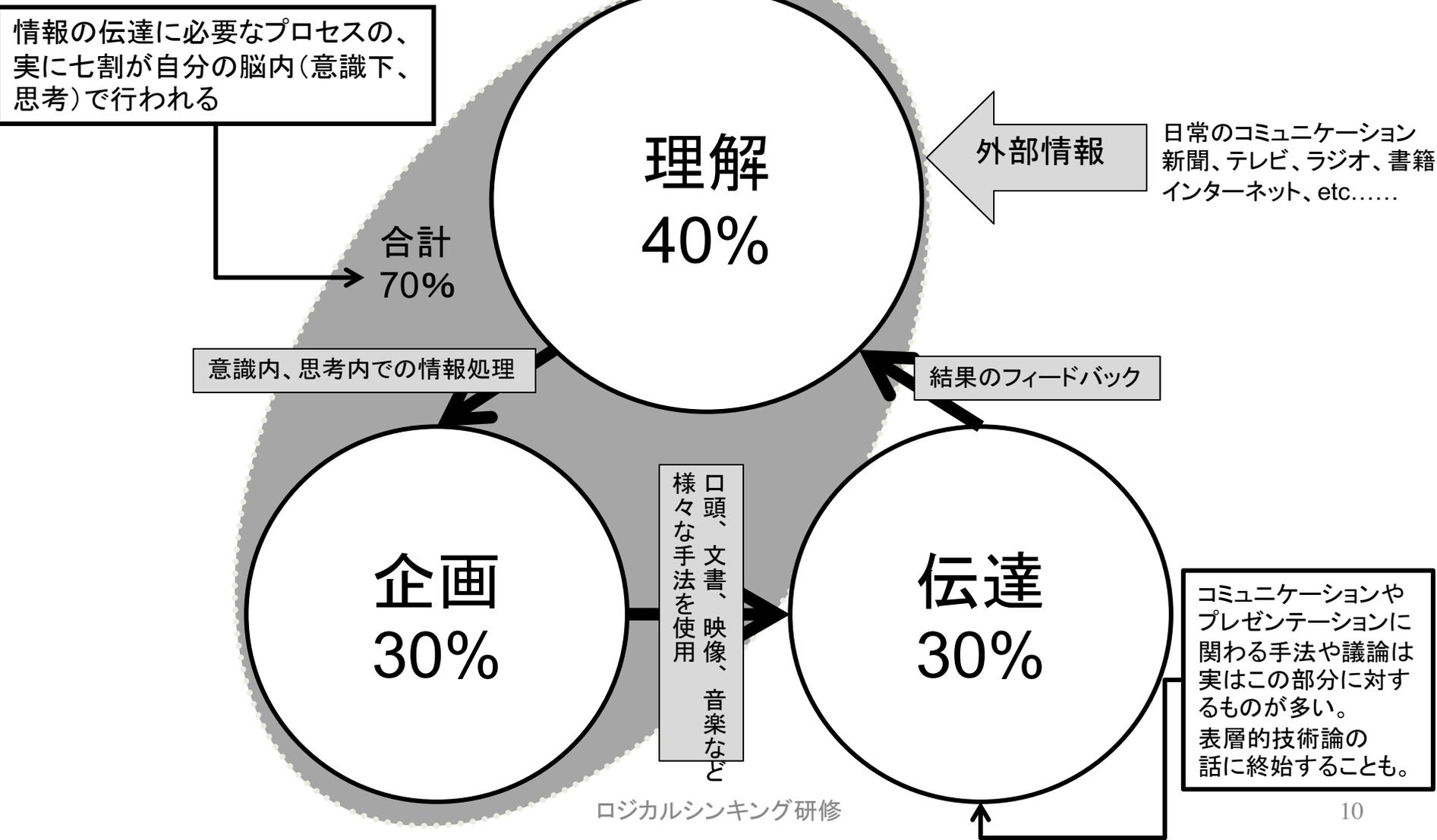


「理想とする上司が絶対に備えているべき能力や資質」という質問では、  
「決断力」(14.8%)、「問題解決力」(13.9%)、  
「コミュニケーション力」(13.5%)が上位を占める結果となりました。一方、「達成志向性」(1.3%)、「自信」(0.8%)といった資質は非常に低い結果となり、「達成意欲」や「自信」が強い上司は部下にとっては煩わしい存在となっている様子が見えられました。

出典：2005年4月11日 株式会社インテリジェンス調査  
(ビジネスパーソン1,000人を調査)

# ■ビジネスコミュニケーションの内訳

コミュニケーションのための図解の技術(日本実業出版社)より作成



# ※ちょっとした実技

---

## <1分コミュニケーション>

---

仕事や趣味における「自分の興味あること」について話合しましょう。

◎ステップ1: 話すことを3分でまとめてください。

◎ステップ2: ふたりひと組になり、片方は、まとめた内容を相手に1分で話してください。  
(1分きっちり使います)

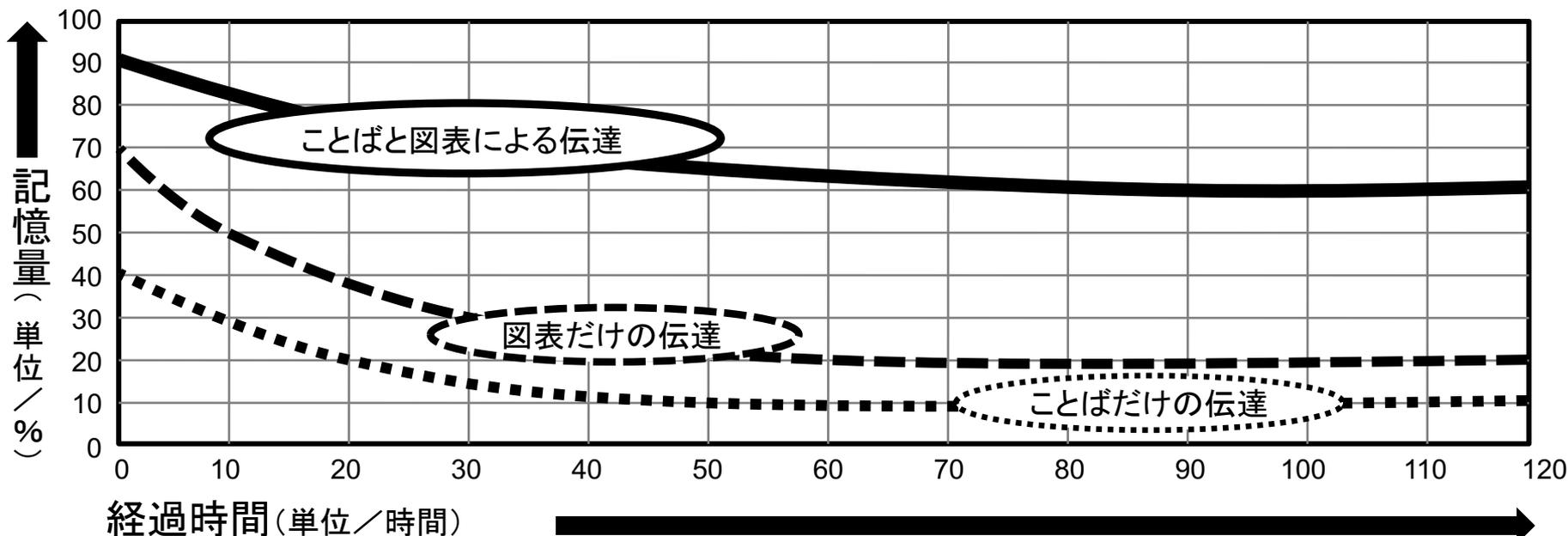
◎ステップ3: もう片方がステップ2と同じことをします。

※話す内容は、自由です。

※誰かと相談せず、話す内容は自分ひとりで考えてください。

# ■ 口頭での合意は当てにならない

ことばと図表の組み合わせで記憶の効率は飛躍的に向上する



図表: コミュニケーションのための図解の技術 (日本実業出版社) より作成

ことばと図表を組み合わせると  
記憶効率は格段に上がる!

コミュニケーション直後の  
ことばと図表の記憶量は  
**90%** 「ことばだけ」の2.25倍  
「図表だけ」の1.3倍

時間経過を経ても、その優位性  
は変わらない!

5日 (120時間) 後の記憶効率は  
**6倍** 「ことばだけ」の  
**3倍** 「図表だけ」の

# ■論理(ロジック)とは？

●課題(テーマ)に対する、結論に至る根拠が、ズレも漏れも重複もなく明解で筋道立っていること。

つまり...

こういうことになります

自分の立てた結論を、相手に納得させる  
ため、いろいろな情報を編集し、組み合わせ  
せて、分かりやすく並べること

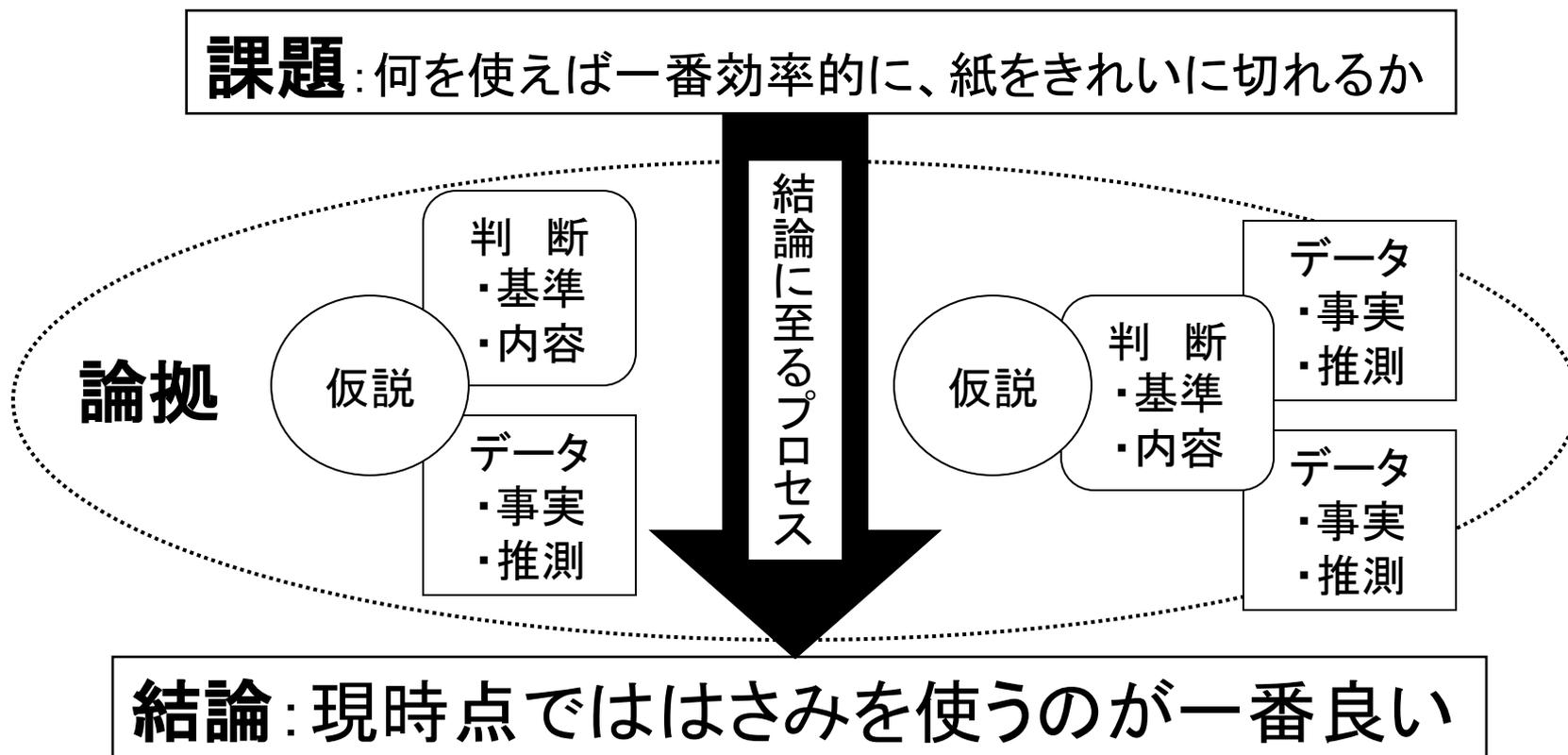
それでは！

「何を使えば一番効率的で、紙をきれいに切れるか」  
を論理的に説明してみよう。

# ■ 論理のかたち

## 論理の定義

自分の立てた結論を、相手に納得させるため、いろいろな情報を編集し、組み合わせて、分かりやすく並べること



# ■論理(ロジック)ツリーの例

課題: 目の前の紙を切るときに何を使えば一番早く、きれいに切れるか?

## 解決手段

今、机の上で見かける道具

所有しているが、探す必要のある道具

道具ではないが、手段として有効

物差し

はさみ

カッター

素手

## 仮説

一番早く紙を切ることはできそうだが、切り口が汚くなったり、曲がったりする可能性も高いだろう。

## 仮説

効率的に紙を切れるが、切り口をまっすぐにするためにはテクニックが必要だろう。

## 仮説

紙を一番早く、まっすぐに切れるが、物差しと組み合わせたり、下に何か敷いたり、準備や手間に時間を取られそう。

## 仮説

道具がないときに使う最終手段。手先が器用であれば、ある程度問題なく目的を達成することができるだろう。

## 事実・経験

見てみると、所々に欠けがある。前に試したときは、端にこぶができて、みっともなかった。

一回紙を折って、ゆっくり切ればきれいに切れる。居間でさっき父親が新聞のスクラップをするときに使っていたのを見た。

そもそも自分の机はブラックホールだ。周りも片づけが悪いので、必要なときに必要なものが出てきたためしがない。

物差しを使って、手でちぎるようにすれば、結構きれいに切れることもある。

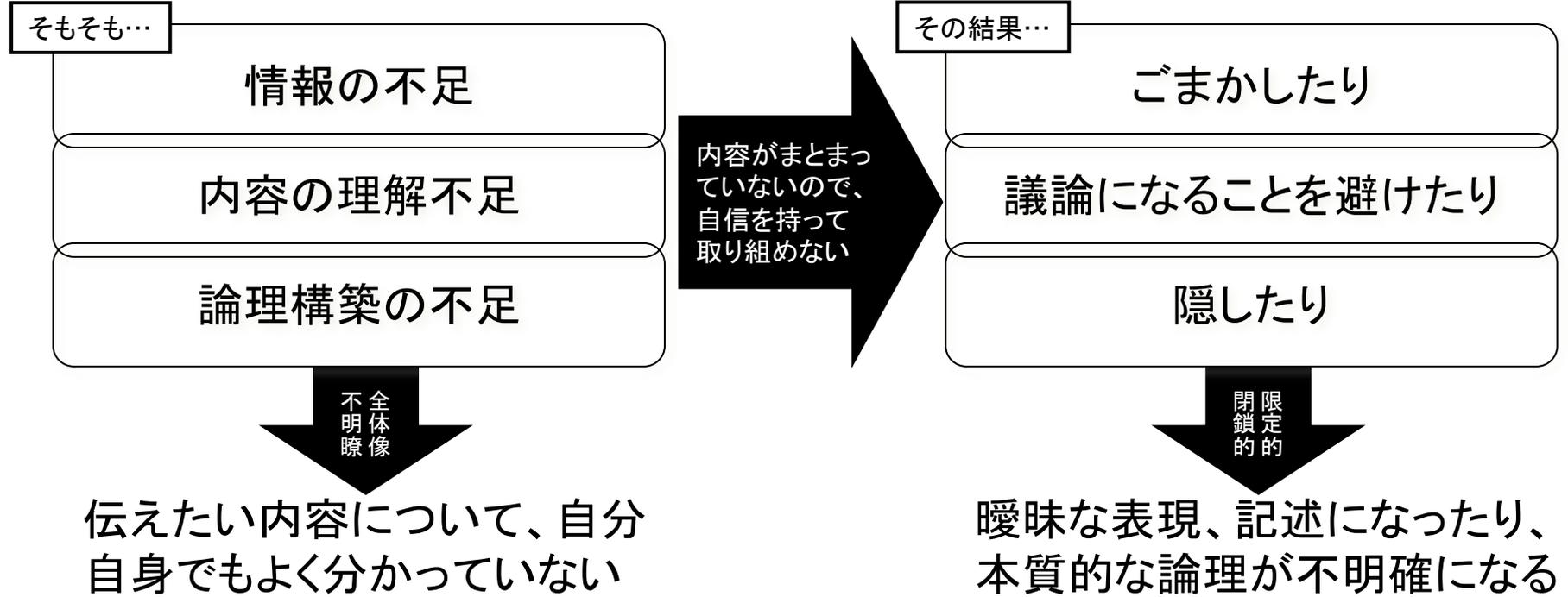
## 判断

紙の切り口がそれほど歪んでなければ、気にならないはずだ。この作業を早く済ませて次の作業にかかりたい。(課題や目的の確認、再設定)

**結論: はさみを使うのが一番よい!**

# ■提案：論理的に考えるために図解を使おう

## ●なぜ、論理的に考えられないのか？



情報がうまく伝わらず、かえって誤解や曲解を招き、不満、不安、不信につながる

# ■ 図解と文章の違い①

## 建設業界

国や地方自治体の財政が苦しくなり、公共事業は縮小傾向にある。国内全就業者の10%を要する大業界だけに、これまで業界を支えてきた公共事業の受注が減るということは、増え続けた建設業者の淘汰を促し、建設業界はいま、生存競争の時代を迎えている。

建設業界は基本的に受注型産業であり、民間からの工事が少なくても行政からの工事発注で仕事がまかなえるという構図を有している。また、製造、運輸業界などと密接に結びついており、他産業への影響力が大きい。就業者は660万人と、先述の通り日本の全就業者人口の10%を占め、全国に56万以上の事業者がいるという点も他業界にはない特徴と言えよう。

業界の規模が大きく他産業にも影響力が大きい点で景気に与える影響は大きく、これまで公共工事には大量の資金が投入されてきた。たとえば1964年の東京オリンピックには1兆円の公共投資が、続く1970年の大坂万博には5000億円が投入されて産業の活性化を促し、日本全体が活発な経済活動を行う大きな力となった。しかし、公共事業の受注型産業であり、なおかつ他産業へも影響力があるという特徴は、一方で地方への利益誘導や失業者対策という名目で政党戦略に利用されるという問題を生み出した。政治家たちの庇護を受けて肥大した業界はその後、ますます公共事業への依存度を高め、行政は建設業界が不況になると大量の失業者が出ることから「国策」としての公共事業を発注するようになった。

結果的に建設業界は政党や行政との癒着を深め、圧力団体化した。事業者主導型の公共事業が増加、それに伴う不必要な公共工事が行われ、国や地方自治体の資金負担増加、環境破壊、公害の発生などの弊害が生まれた。また業界内での利益分配のため「談合」が行われ、本来なら国全体が活発な経済活動をするために有効であった公共事業は、まるで建設業界の存続のためにのみ発注されているのではないかと、というような問題点も指摘されている。

ただし昨今の景気の低迷、消費の冷え込みの影響は確実に建設業界にも大きく影響を与えており、何よりも財政が逼迫(ひっぱく)した国や地方自治体からの資金投入が期待できなくなっている。これにより公共事業受注に依存していた業界は再編を余儀なくされている。

932字

# ■ 図解と文章の違い②

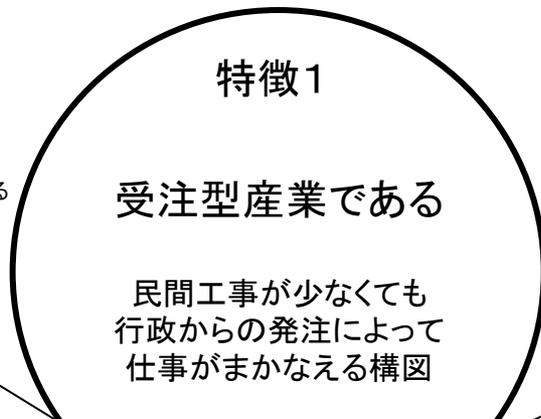
**建設業界** ●国内全就業者の10%を擁する大業界！  
公共事業への批判が高まり生存競争の時代に！

建設業界は  
生存競争の時代を  
迎えている  
国や地方自治体の財政が苦しくなり、  
公共事業は縮小傾向にある

**問題点**

- 「開発」に伴うデメリットがある
- 国、地方自治体の資金負担が増加している
- 環境破壊につながる危険性が高まっている

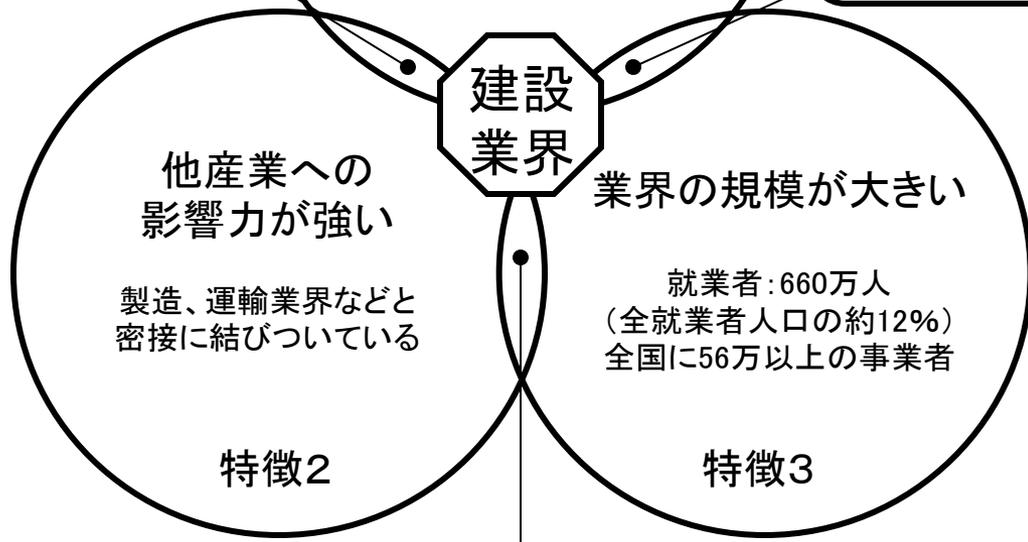
地方への利益誘導や  
失業者対策という  
名目で利用されることもある



**問題点**

- 行政との癒着や談合などが指摘されている

建設業界が不況になると、  
大量の失業者が出ることから  
「国策」として公共事業を発注する



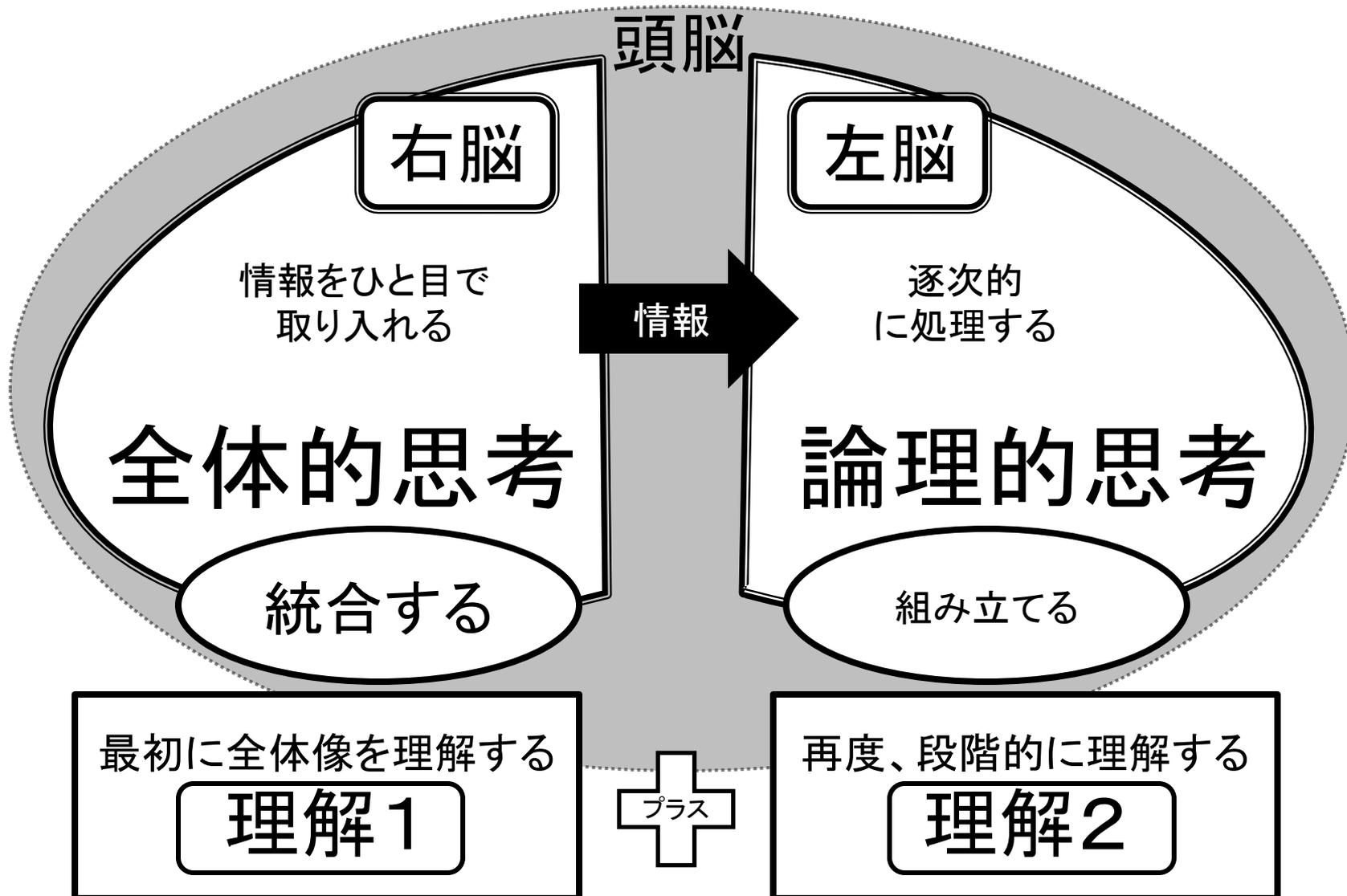
**問題点**

- 事業者主導型の公共事業が増加している
- 圧力団体化してきた

大量の資金が必要  
1964:東京オリンピック1兆円  
1970:大阪万博 5000億円  
産業の活性化につながる  
(関連業界も含めて)  
国全体が活発な経済活動をするよう  
になる

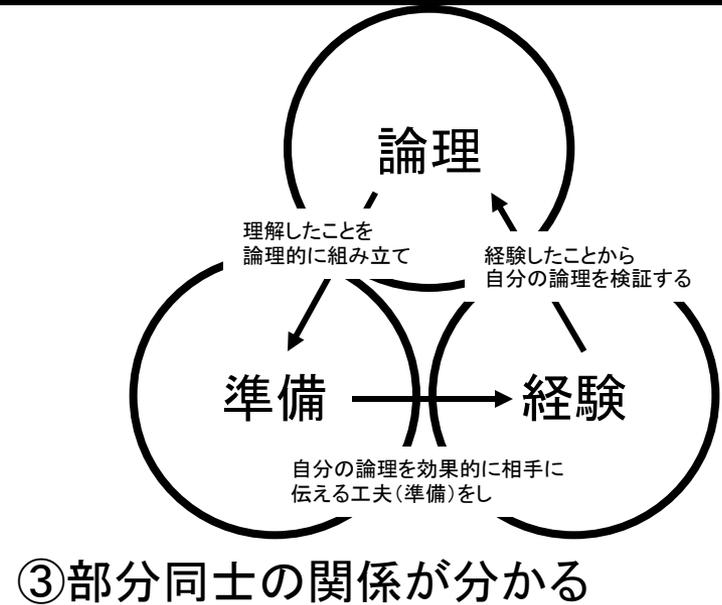
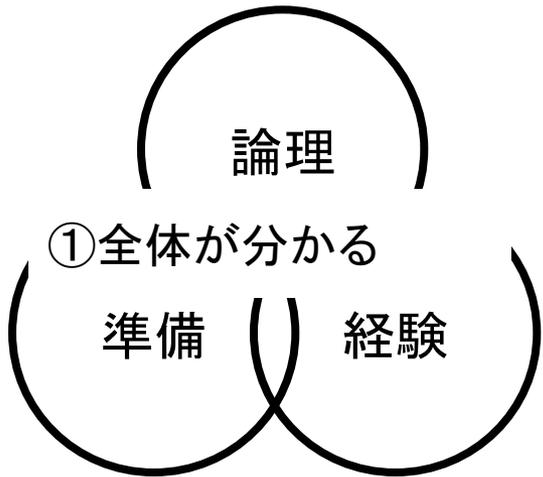
472字

# ■ 図解思考法と脳の仕組み



# ■ 図解思考は論理思考

## ■ 図解の3つの特徴



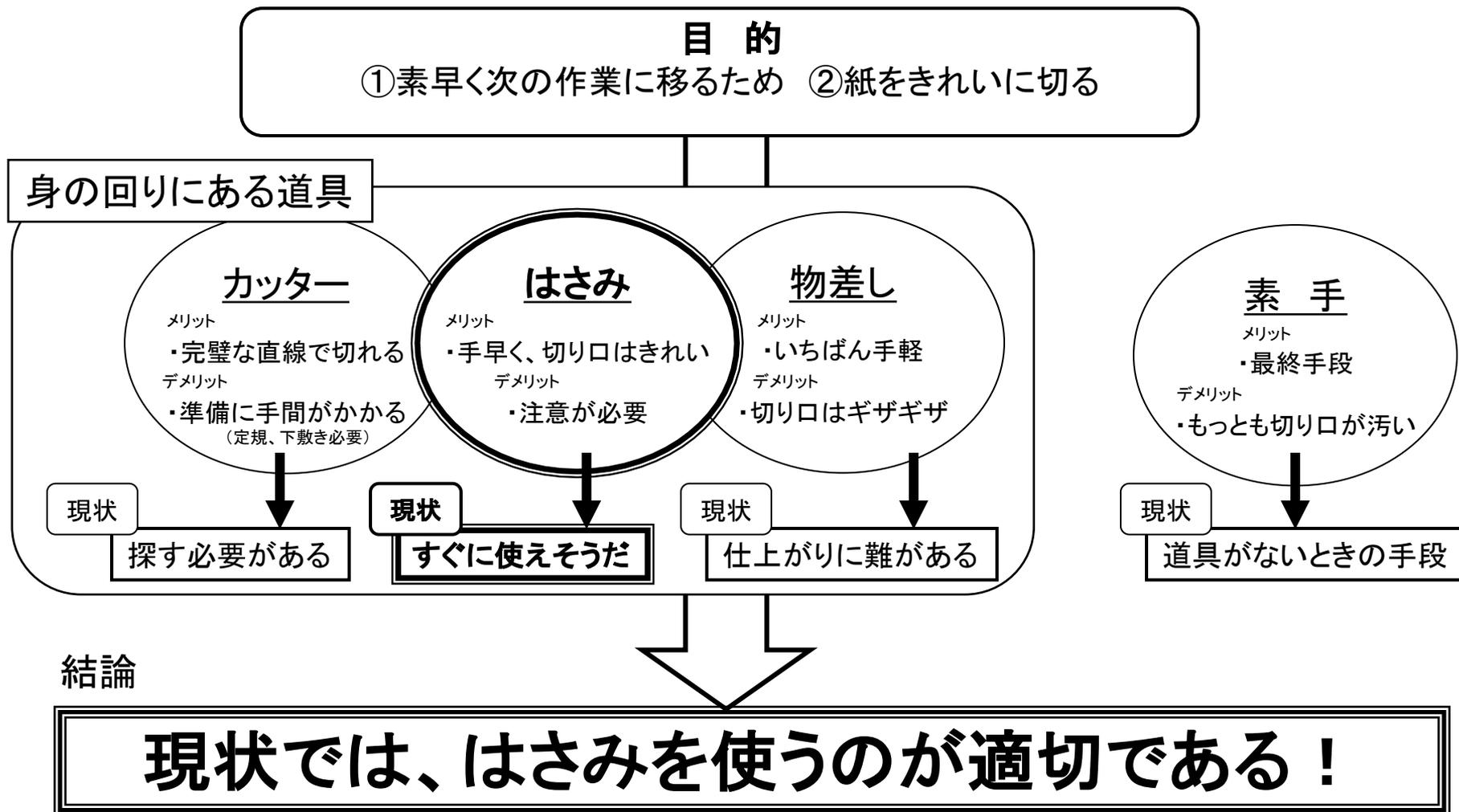
どんな物事も、全体、部分、部分同士の関係が分かれば「論理的に理解した」ということになるのではないかな？

つまり...

図解は、論理(ロジック)を現すのに最適な手法と言える。

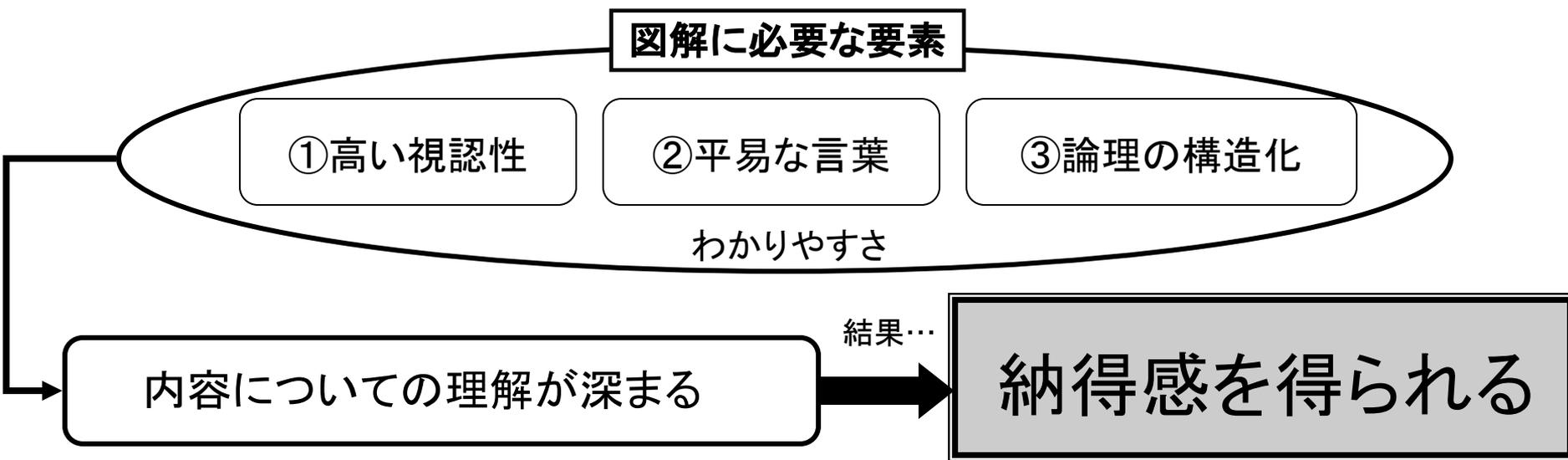
# ■ 図解化の例

● 現状で、最も効率的に作業を進めるために必要な道具は何か？



# ■ 図解の基礎概念

## 図解の仕組み



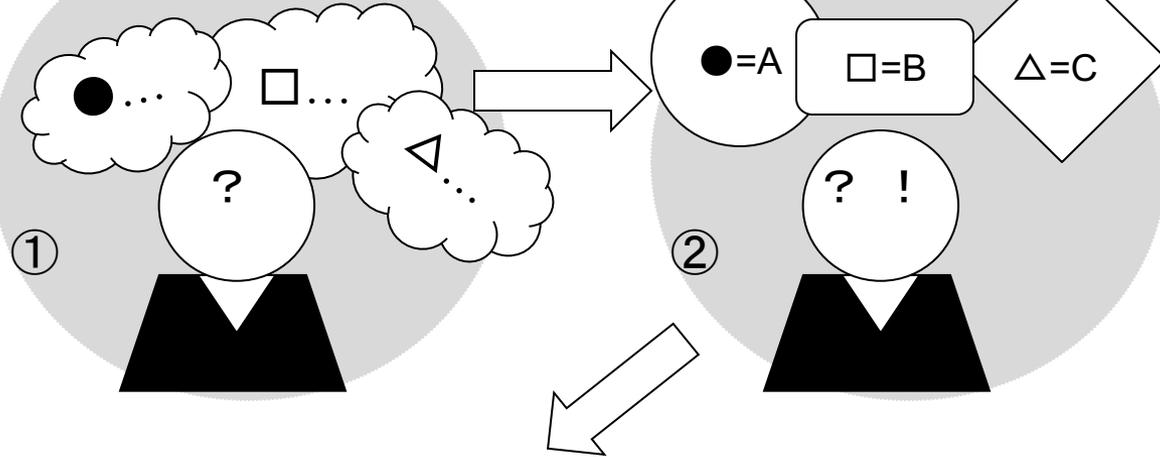
↑ 図解を使うと…

他者の目が理解でき  
言語のキーワード化能力が高まり  
物事の構造的理解を入手できる

# 図形と矢印で「構造と関係」を表す

課題に対し、モヤモヤと浮かぶ  
頭内のイメージやことばの情報

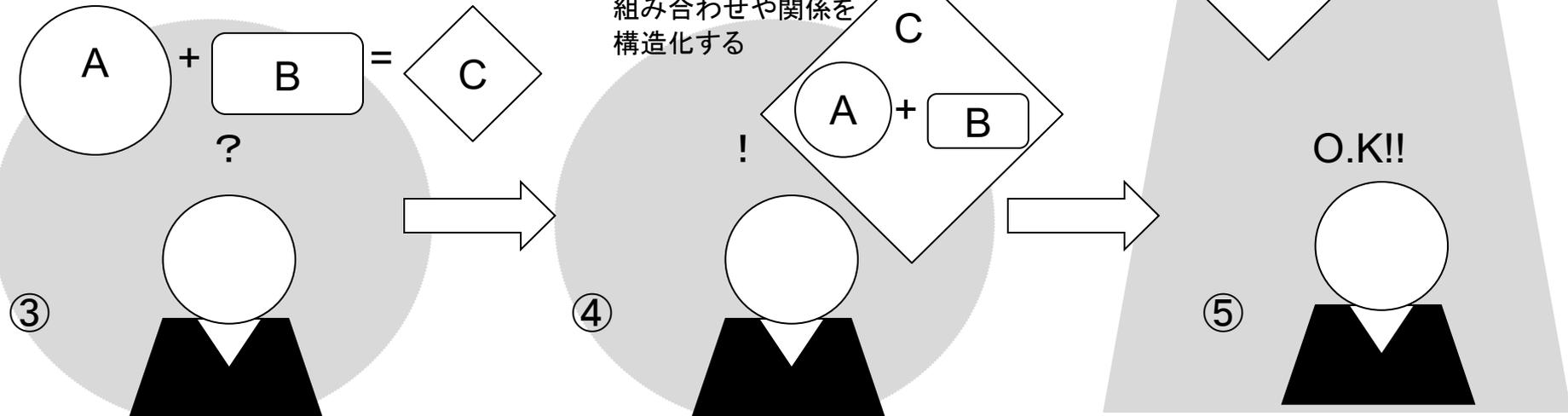
漠然とした情報を具体的なキーワードにする



キーワードの組み合わせや関係から  
確認できたこと、発見したことを結論とし、  
書き加えて仕上げる

キーワード同士の組み合わせや関係を考える

キーワード同士の  
組み合わせや関係を  
構造化する

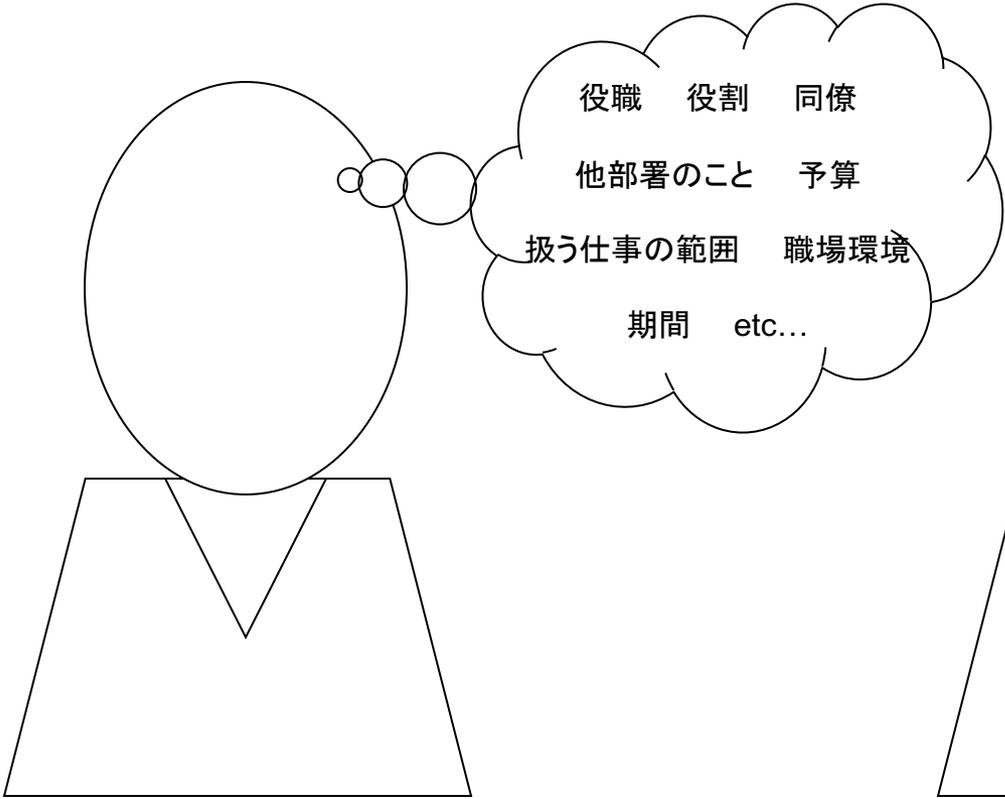


# ・図解の描き方① 情報の明示、収集

段階1:

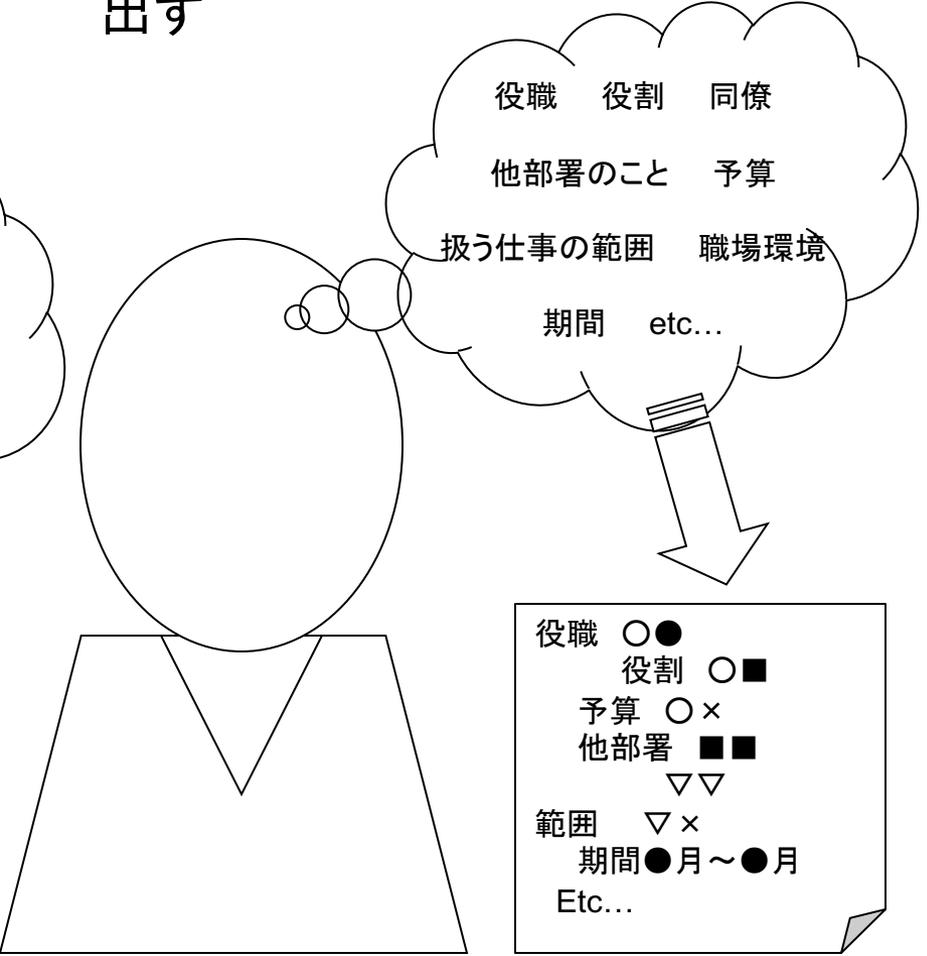
課題にあわせ、頭の中のキーワードを引き出す

課題:あなたの仕事を図解にして下さい。



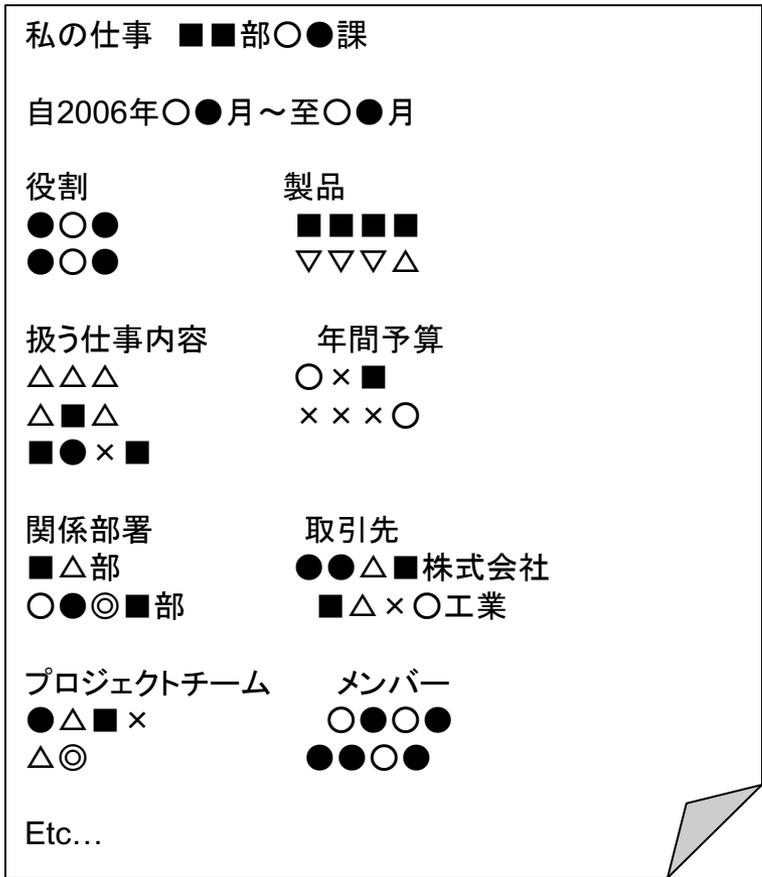
段階2:

頭の中のキーワードを紙に全部書き出す

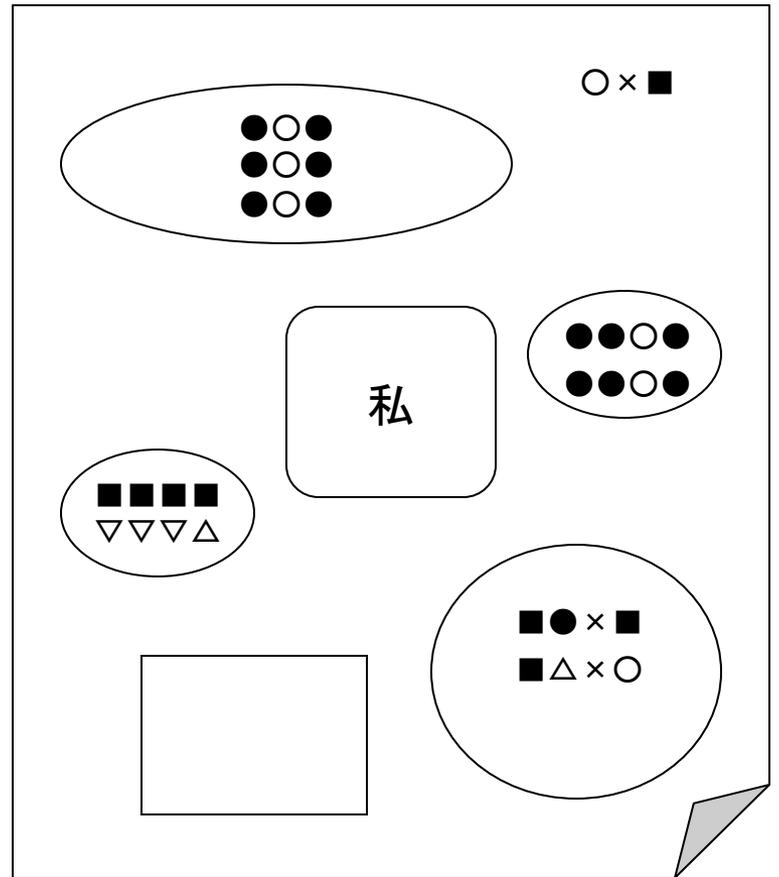


# ・図解の描き方② 情報の整理、分類

段階3:  
紙の上のキーワードを整理、区分けする  
(箇条書き段階)



段階4:  
キーワードをマルで囲み、情報群を配置する

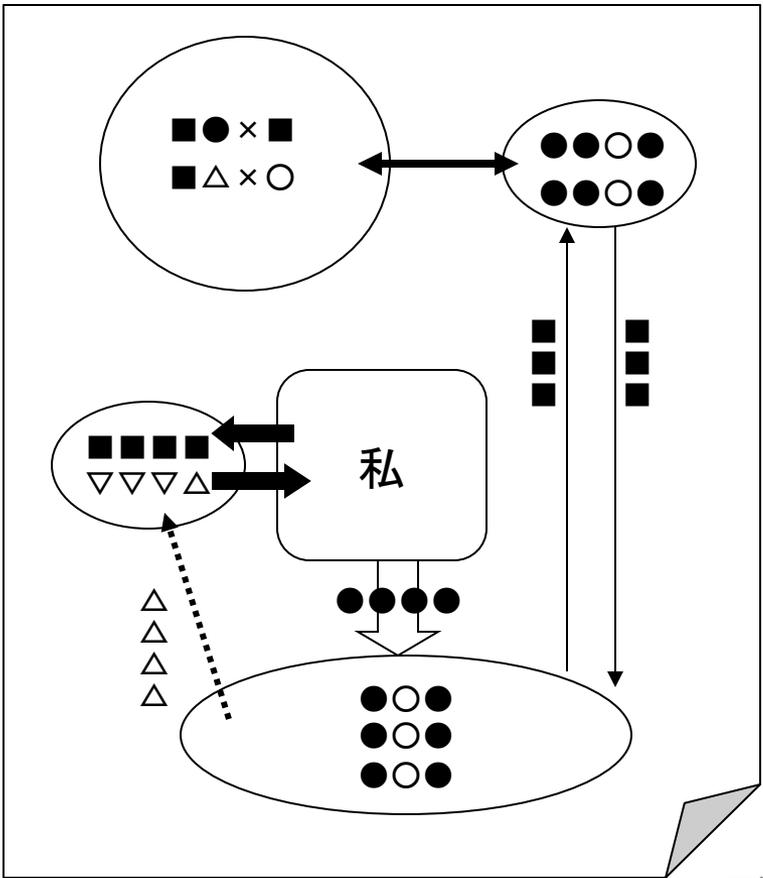




# ・図解の描き方④ 目的に応じて仕上げる

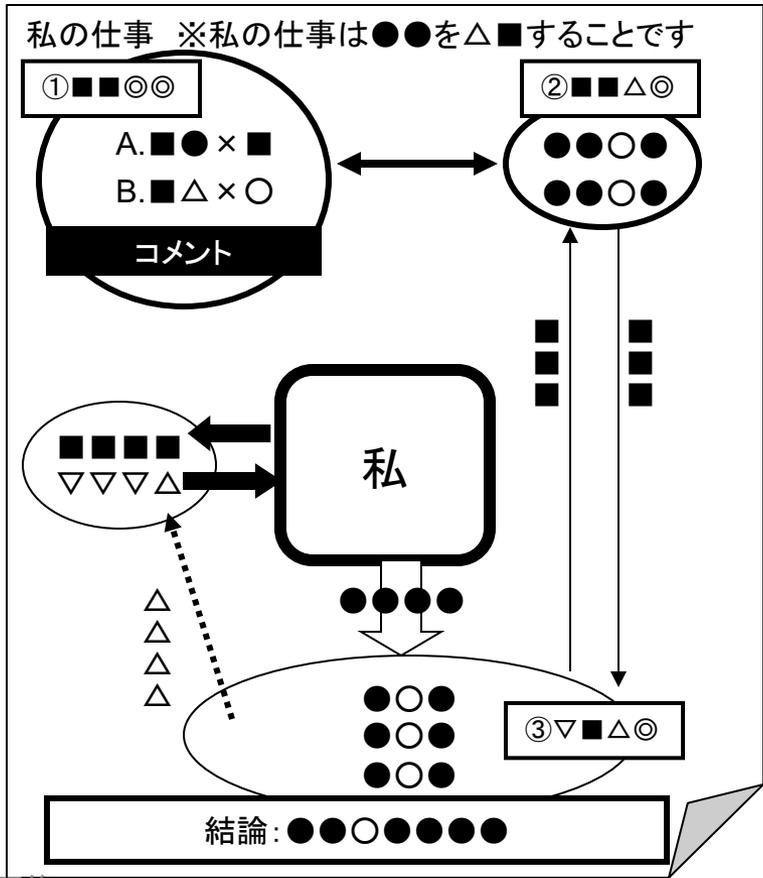
段階7:

誰に(自分も含む)どんな情報を、どの程度提示するかによって情報量や内容を吟味する

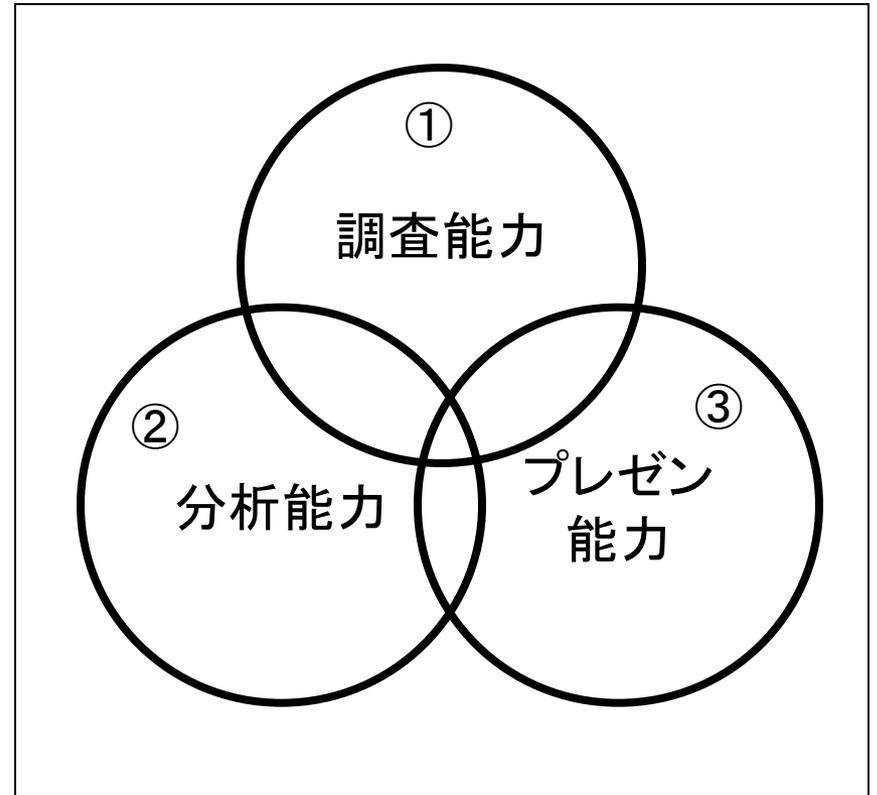
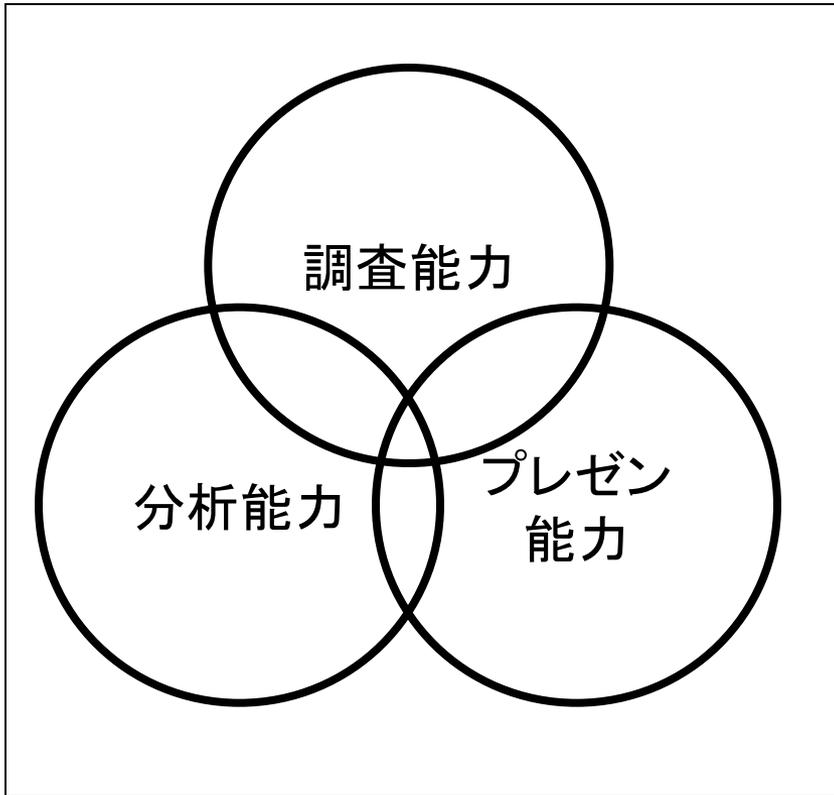


段階8:

見やすく分かりやすくするためにいろいろな工夫をしてみる(タイトル、見出し、番号など)

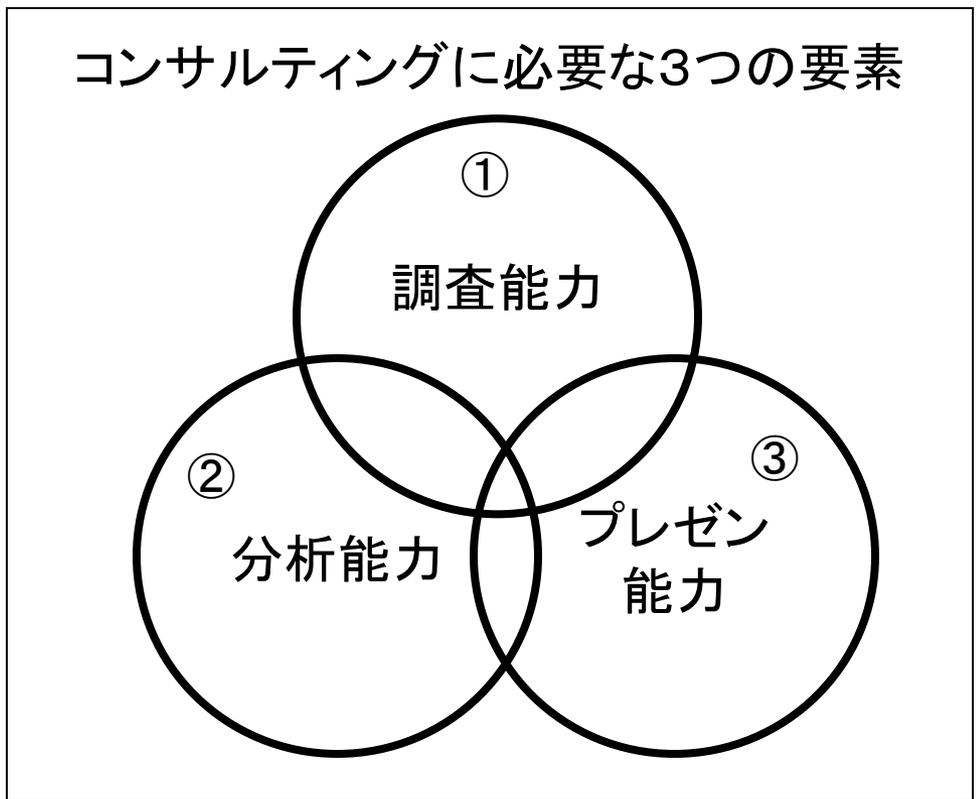
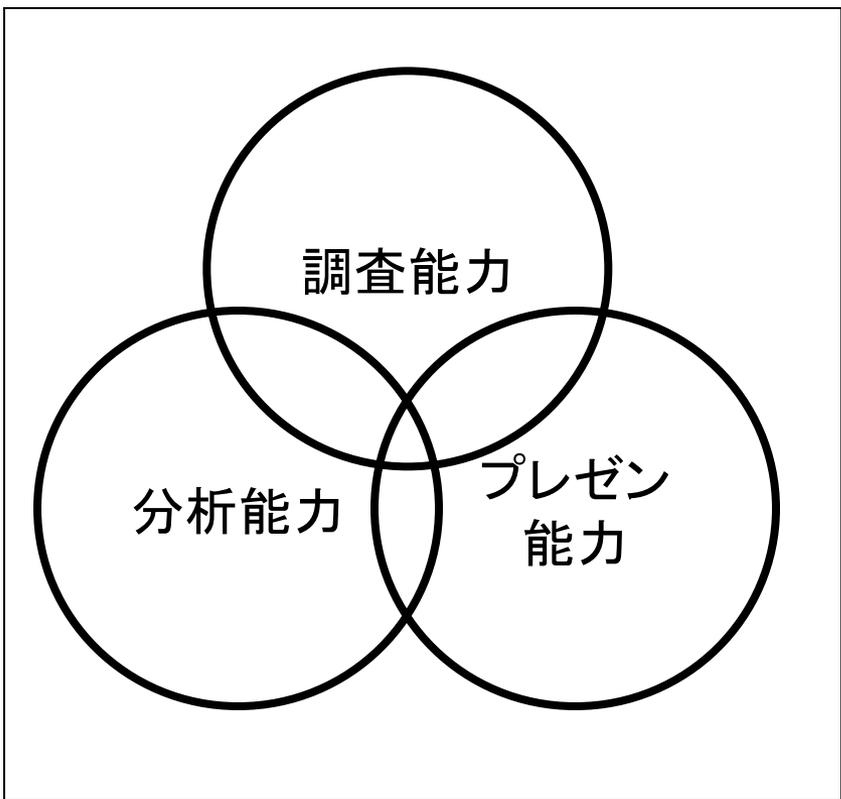


# ● 図解を描く① アイコントロール



図解を見やすく分かりやすくするためには  
なんらかのガイドを設ける必要がある

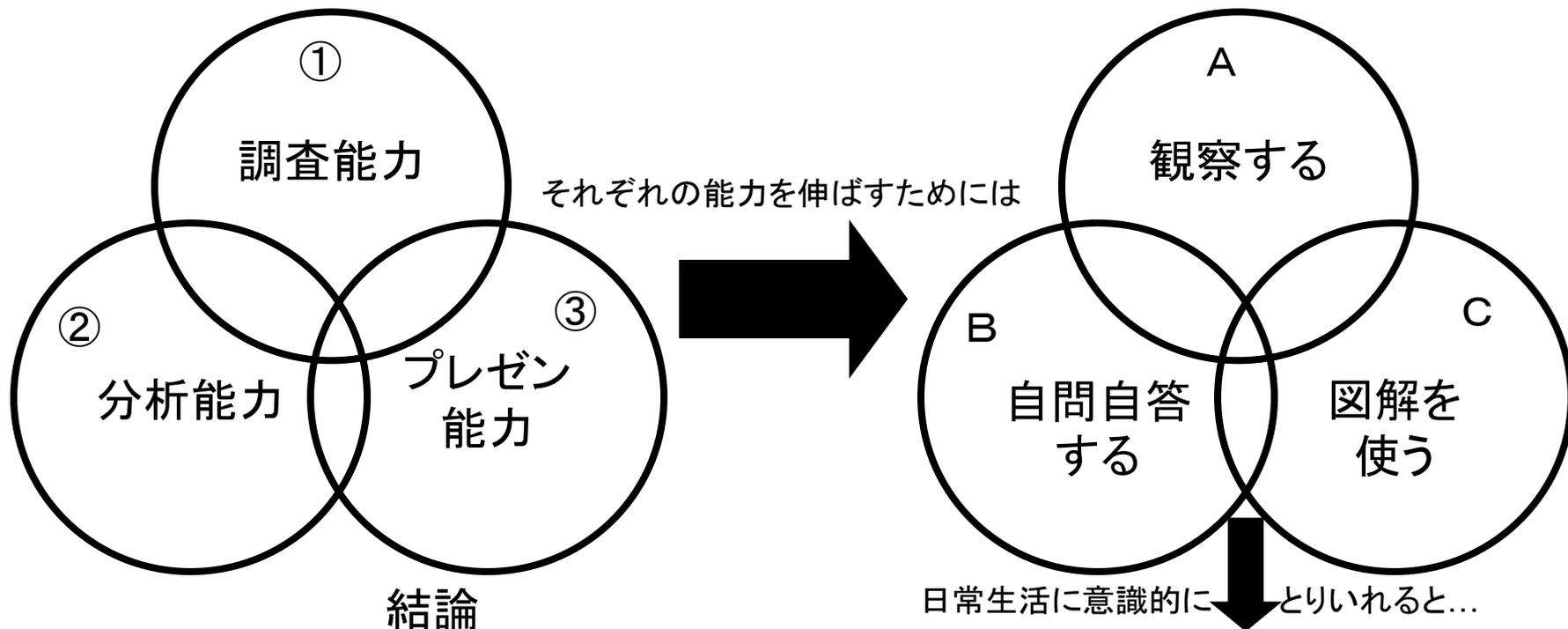
# ● 図解を描く② タイトル



何の図解が分かれば、内容に対する理解度が上がり、納得感が高まる

# ● 図解を描く③ 結論(コメントの付け方)

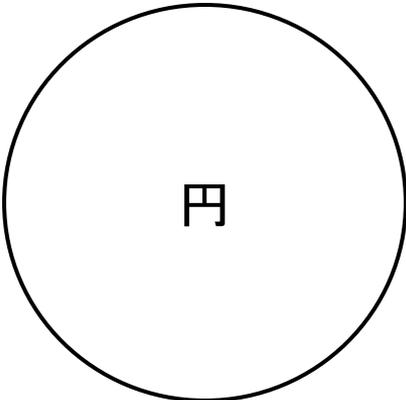
コンサルティングに必要な3つの要素を伸ばす方法



普段から、A、B、Cの点に留意し意識的に訓練することで、コンサルタントとしての能力が開発される。

## 結論なき図解は相手の理解を得にくい

# ●記号の概念① 図形の意味



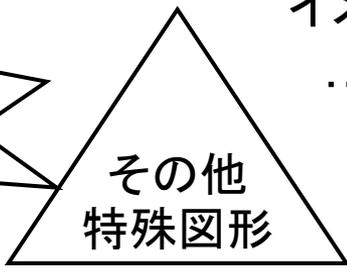
イメージ  
...概念そのもの  
集合体、集合群  
和、積など



イメージ  
...標題  
吹き出し  
要素の一部  
差、除など



イメージ  
...テキストボックス  
概念、課題、結論など



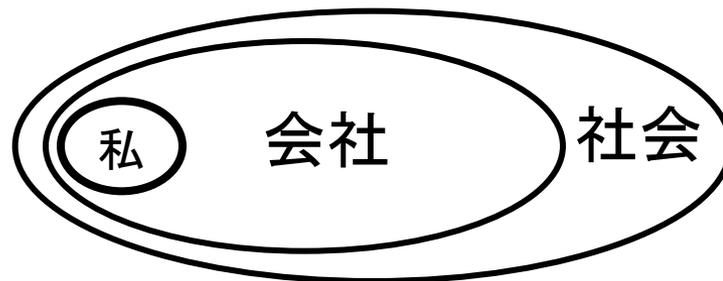
イメージ  
...強調、欄外  
その他恣意的な用途  
形状的な特殊効果など  
(例: 矢印の代用など)

# ● 図形をつかう：図形を組み合わせ、形象化する

## ■ 情報を内包する



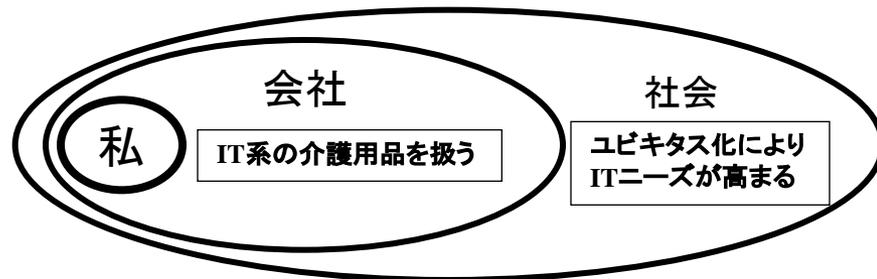
## ■ 図形を入れ子にする



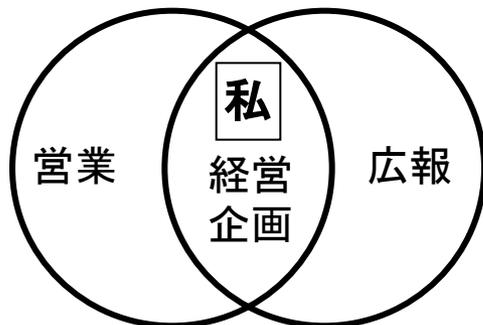
## ■ 図形内で分類する



## ■ 図形内で説明する



## ■ 図形を重ねる

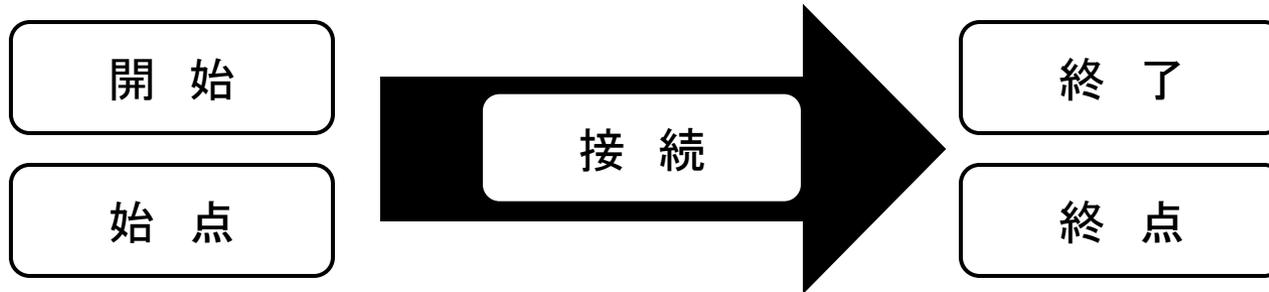


## ■ 異なる図形で説明(分類の規格化)

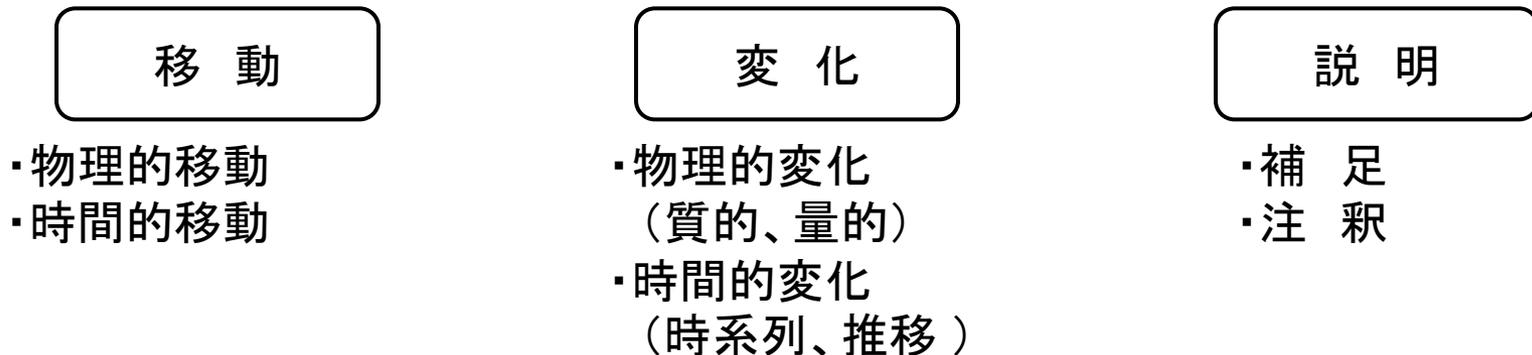


# ●記号の概念② 矢印の意味

矢印自体の持つ記号的意味

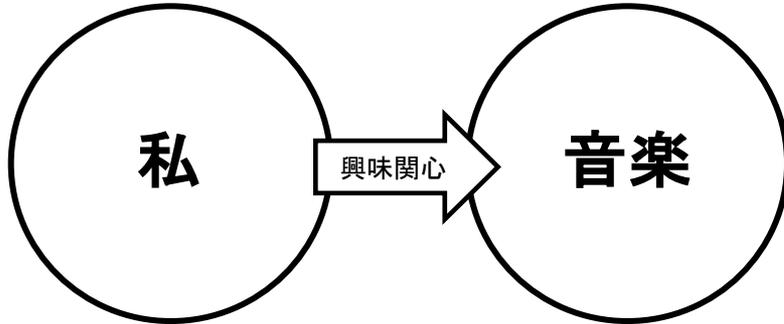


矢印に含まれる記号的意味

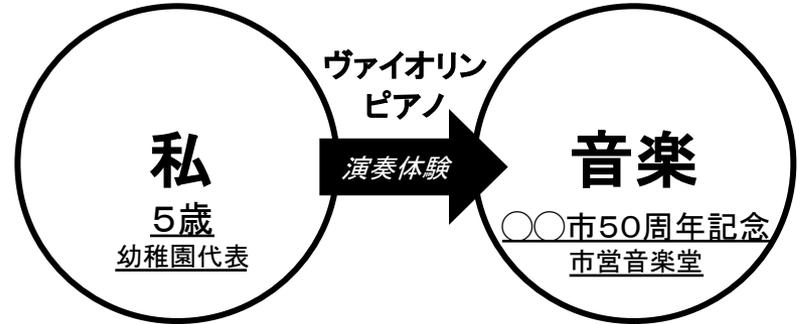


# ●矢印をつかう：図形と矢印で関係を表現する

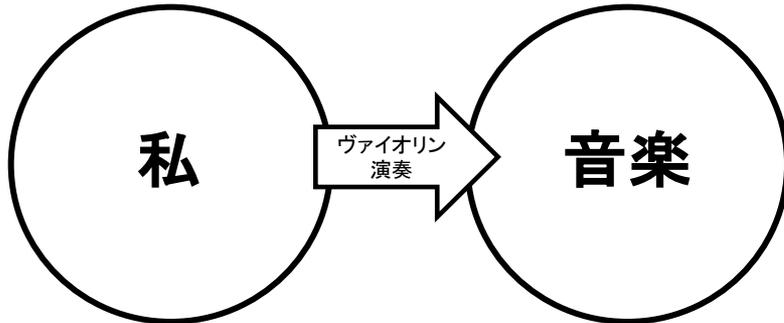
■矢印の中に入れる(心の動き)



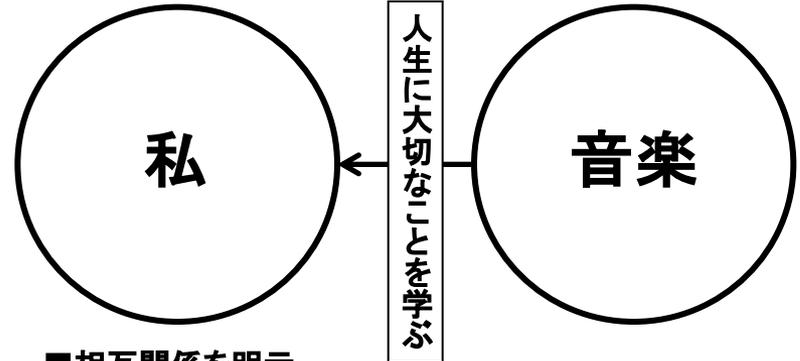
■矢印ひとつで説明



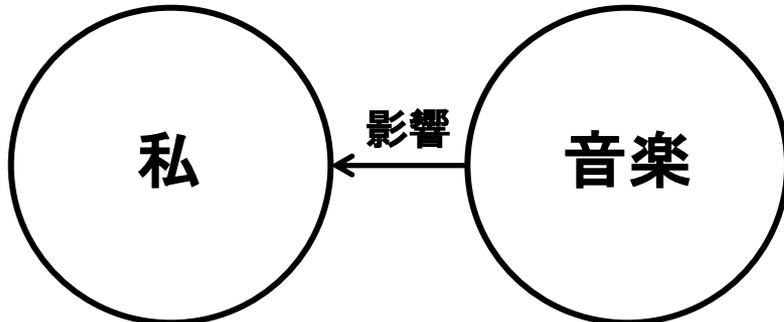
■矢印の中に入れる(具体的な事象)



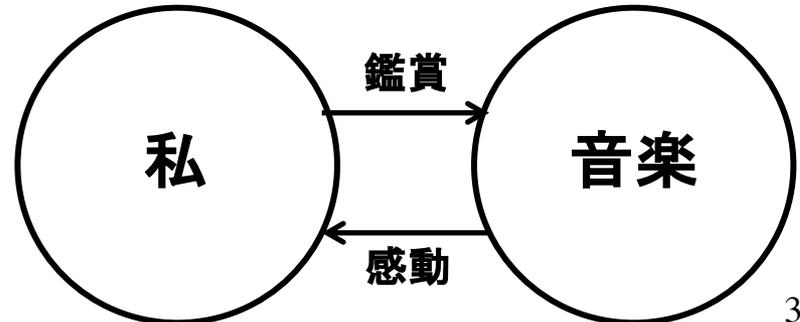
■矢印上に入れる(文章で補足)



■矢印の上に記載



■相互関係を明示



# ※図解プラクティス①

---

## <文章を図に直してみよう>

---

下記の文章から理解した、情報同士の関係性を図にまとめてみましょう。

「ビーカーに入れた液体A100ccをバーナーで加熱し、沸騰させると気体Bが発生する。液体Aの水分を完全に蒸発させると、残留物として物質Cが5g残る。(73字)」

◎ステップ1:まず、箇条書きにしてみよう。

◎ステップ2:文章中のキーワードと思われる文章、あるいは単語をチェックする。

◎ステップ3:情報そのものは枠で囲み、情報同士の「関係」は矢印で表現する。

※制限時間は5分。

※まとめる際、私語は厳禁です。

※図を描く際に隣の人と相談してはいけません。内容は自分ひとりで考えてください。

※あとで話し合う時間を持ちます。

# ※図解プラクティス②

## <情報の種類とレベルを構造にしてみる>

下記の文章から理解した、情報同士の関係性を図にまとめてみましょう。

「イサミとタカシは郡山高校の同級だった。

ふたりともサッカーをたしなみ、互いに異なるチームでプレイするときの、壮絶なパスの奪い合い、シュートの競い合いは、いまでも同級生の間で語りぐさとなっている。

イサミがある科目で優秀な成績を収めると、タカシはまた別な科目で彼を凌駕するといった具合に、成績も優劣つけがたく拮抗していた。

それらの出来事の影響からか、彼らはいつも意地の張り合いをしているかのように思われがちだったが、余人にあまり知られていない事実も存在していた。

両人が時に連れ立ち、図書館で並んで勉強したり、遠く離れた渋谷で遊興にふけていた、と目撃者たちは信じられない様子に語るのである」

◎ステップ1:文章を一度読んでみる、理解する。

◎ステップ2:文章中のキーワードと思われる文章、あるいは単語をチェックする。

◎ステップ3:情報そのものは枠で囲み、情報同士の「関係」は矢印で表現する。

※制限時間は5分。

※まとめる際、私語は厳禁です。

※図を描く際に隣の人と相談してはいけません。内容は自分ひとりで考えてください。

※あとで話し合う時間を持ちます。

# ※図解プラクティス③

## <情報の関係性を構造にして図を構築してみる>

下記の文章から理解した、情報同士の関係性を図にまとめてみましょう。

「私は東京生まれの山形育ち。家族は両親と3つ離れた妹です。山形県庁の文書管理課に務めています。好きなものは絵画鑑賞と本を読むこと。毎月一度は必ず東京神奈川近辺の美術館巡りをしています。いま興味のあることは、海外のアート作品をインターネットで探し、お気に入りのアーティストを見つけることです。最近ではストリートアートに凝っていて良い作品を探すのに休日を丸一日使うこともあります。

性格的には引っ込み思案ですが、一度やろうと決めたことは必ず最後までやり通します。自分では凝り性と思っていますが、家族や友達からは飽きっぽいと言われることがあります。すぐ泣いてしまうところは嫌いですが、気持ちをすぐに切り替えられるところが長所だと思います」

◎ステップ1:文章を一度読んでみる、理解する。

◎ステップ2:文章中のキーワードと思われる文章、あるいは単語をチェックする。

◎ステップ3:情報そのものは枠で囲み、情報同士の「関係」は矢印で表現する。

※制限時間は10分。

※まとめる際、私語は厳禁です。

※図を描く際に隣の人と相談してはいけません。内容は自分ひとりで考えてください。

※あとで話し合う時間を持ちます。

# 講師プロフィール

カ丸 萌樹(りきまる もえき)

1964年東京生 舞台俳優、雑誌編集者、ディスプレイ業などを経てフリーのイラストレーター・デザイナーになる。

2002年県立宮城大学卒

1989年、デザイン事務所、アトリエ・マ・ヌー舎を主宰、SOHOの先駆けとしてネットワークによるワークスタイルを確立した。

1997年開学の県立宮城大学に社会人入学し、事業構想学部の久恒啓一氏に師事、図解の理論と描法、実践、情報分析の手法を学ぶ。

2001年、財団法人社会開発研究センター宮城総合研究所研究員に就く傍ら、宮城大学1期卒業生有志と在学中に立ち上げたサークル

「デュナミス」を起業させる(現株式会社デュナミス)。

2003年から兼任講師として東北工業大学で「プレゼンテーションの技術」を開講、学生の社会性向上、実務スキル養成カリキュラムを実施。

2004年7月、財団法人社会開発研究センター宮城総合研究所から財団法人日本総合研究所に移籍、主任研究員となる。

2004年度「SENDAI光のページェント」実行委員としてボランティアの市民活動に参加、2005年12月にボランティア組織のノウハウをまとめた「～光のページェントに学ぶ～街のビッグイベントを成功させる本」(中経出版)を執筆、実行委員会名義で出版。

2005年、単年度嘱託で東北福祉大学産学官連携事業開発室／企画制作担当マネージャーを兼務。

2006年、株式会社デュナミス監査役に就任。

2008年、県立宮城大学で「ビジネスプレゼンテーション」を開講。

2009年、東北工業大学の講義拡充、ライフデザイン学部で2クラス追加開講。

2011年、厚生労働省管轄の基金訓練指導者として販売業概論およびコミュニケーション論を担当。

宮城県仙台高等技術専門校で実施されている発達障害者の就労支援サポーター(単年度)就任。

2012年、県立宮城大学「図解コミュニケーション」開講。

2013年、埼玉県川越市に移転、新たなステージを目指す。

2015年、玉川大学夏期特別講座開講、大学ゼミとの連携プロジェクト開始。

2017年、東北工業大学×玉川大学×専修大学連携プレゼンバトル開催。

2018-19年、玉川大学「キャリアとコミュニケーション」開講。7大学対抗+αプレゼンバトルをプロデュース。

2020年、東北工業大学「プレゼンテーションの技術」新規開講

## <取材記事>

- ・宮城県広報誌「SAIL」2001年第8号(特集「学び人立つ～ベンチャーする学生たち～」)
- ・住宅&生活専門誌「家と人」2001年3月号(コラム:勉強の秘訣はデンマーク発)
- ・季刊「Basic」2001年春号No.51(特集「人をつなぐ情報」未来を演出、地域を創造)
- ・河北新報「ひと」欄ほかテレビ・ラジオ など取材多数。

## <主な講演・研修テーマ>

- ・「CSと行政改革」(宮城県市町村職員研修所/研修会)
- ・「文化活動の広報について」(けせんぬまアートマネジメント講座/研修会)(ふるかわアートマネジメント講座/研修会)
- ・「CSコラボレーション」(富士ゼロックス本社/研修会)
- ・大手製造業図解研修(研修会)
- ・「デュナミスという事業構想」(雇用能力開発センター「起業家講座」/講演)
- ・「説得型営業から納得型営業で顧客の心をつかむ法」(ユアサ商事/講演)
- ・キャリアカウンセラー養成講座(NPO法人キャリア開発研究機構/研修会) ほか。

## <宮城県でのこれまでの主なプロジェクト>

- ・県民ニーズ把握のための基礎調査(宮城県)
- ・高清水町長期総合計画策定のための住民ニーズ調査(高清水町)
- ・インキュベート施設退去ベンチャー企業追跡調査(民間企業)
- ・ベンチャー育成のためのソフトインフラ東北モデル策定調査(民間企業)
- ・起業家教育交流促進事業(経済産業省)
- ・起業家教育普及促進のためのコーディネート及びモニタリング調査(経済産業省)
- ・東北のソフトウェア産業に関する包括的調査・提言(民間企業)
- ・住宅産業のビジネスモデル見直しのための調査及びコンサルティング(民間企業)
- ・大規模商業施設CS調査及び、広告効果把握のための調査・提言(民間企業)
- ・住民に対するアカウントビリティ向上のための手法検討(国土交通省) など多数。